NEC

IP8800/A260 ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 4.21 対応

IP88A26-S005-60

■対象製品

このマニュアルは IP8800/A260 モデルを対象に記載しています。
また，IP8800/A260 のソフトウェア Ver.4.21 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，ソフトウェア OS-L2F，およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ，必要な手続きをお取りください。
なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ethernet は，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
GSRP は，アラクサラネットワークス株式会社の登録商標です。
Internet Explorer は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
IPX は，Novell,Inc. の商標です。
Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
sFlow は，米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

２０２０年　１１月　（第７版）　IP88A26-S005-06

■著作権

変更履歴

【Ver. 4.21（第 7 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
1.1.3　運用メッセージのフォーマット	フォーマットの時刻説明を変更しました。
1.2.3　運用ログのフォーマット	フォーマットの時刻説明を変更しました。
1.2.4　種別ログのフォーマット	フォーマットの時刻説明を変更しました。
1.2.5　ログのコード情報	イベント発生部位に EQUIPMENT を追加しました。
2.1.1　イベント発生部位＝ CONSOLE	項番 1 のメッセージ識別子を変更しました。
2.3.1　イベント発生部位＝ SESSION	装置管理者モードへの変更（enable コマンド）時の RADISU 認証を追加しました。
2.6.1　イベント発生部位＝ PORT	項番 8，10，20 の対応内容を変更しました。
2.6.3　イベント発生部位＝ FABRIC	項番 1 の対応内容を変更しました。
2.7.12　イベント発生部位＝ EQUIPMENT	本項を追加しました。

なお，単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 4.12（第 6 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
運用メッセージのフォーマット	• フォーマットにスイッチ番号を追加しました。
運用ログのフォーマット	• フォーマットにスイッチ番号を追加しました。
種別ログのフォーマット	• フォーマットにスイッチ番号を追加しました。
ログのコード情報	• イベント発生部位に STACK を追加しました。 • イベント発生インタフェース識別子の表示説明にスイッチ番号を追加しました。
イベント発生部位＝ CONSOLE	• スタックに関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ STACK【OP-WLE】	• 本節を追加しました。
イベント発生部位＝ SESSION	• スタックに関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。
イベント発生部位＝ SNOOP	• スタックに関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ DHCPSN	• スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。
イベント発生部位＝ KERNEL	• スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。
イベント発生部位＝ PORT	• スタックに関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ FABRIC	• スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。
イベント発生部位＝ ROM	• スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。
イベント発生部位＝ SDCARD	• スタックに関するログを追加しました。 • スタック機能有効時の表示について説明を追加しました。

【Ver. 4.10（第 5 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ PORT	• リンク状態中継機能のログを追加しました。
イベント発生部位＝ SDCARD	• MC 運用モード機能のログを追加しました。

【Ver. 4.7（第 4 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ DHCPSN	• バインディングデータベース生成に関するログの内容を変更しました。 • バインディングデータベース保存に関するログのメッセージテキストを一部変更しました。
イベント発生部位＝ KERNEL	• 装置起動時の運用ログ収集開始のログを追加しました。

【Ver. 4.6（第 3 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
イベント発生部位＝ CONSOLE	• スタートアップコンフィグレーションファイルが読めなかった場合に出力されるメッセージテキストを変更しました。
イベント発生部位＝ SNOOP	• IGMP マルチキャストルータ自動学習に関するログを追加しました。 • IGMP snooping と MLD snooping で学習したグループ数の和が収容条件を超えた時のログの内容を変更しました。

【Ver. 4.5（第 2 版）】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
はじめに	•「本バージョンでご使用時の注意事項」の記述を変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• ハードウェアリソース制限超過検出時のログを追加しました。
イベント発生部位＝ KERNEL	• ログファイル損傷検出時のログを追加しました。
イベント発生部位＝ ROM	• フラッシュメモリ故障検出時のログを追加しました。

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルはIP8800/A260モデルを対象に記載しています。また，IP8800/A260のソフトウェアVer.4.21の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，ソフトウェアOS-L2F，およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。
操作を行う前にこのマニュアルをよく読み，書かれている指示や注意を十分に理解してください。このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。
なお，このマニュアルでは特に断らないかぎりIP8800/A260に共通の機能について記載しますが，モデル固有の機能については以下のマークで示します。

【08TF】：

IP8800/A260-08TFについての記述です。

【08T】：

IP8800/A260-08Tについての記述です。

また，オプションライセンスの機能については以下のマークで示します。

【OP-WL】：

オプションライセンスOP-WLについての記述です。

【OP-WLE】：

オプションライセンスOP-WLEについての記述です。
また，当該マークの記述は，オプションライセンスOP-WL登録済が前提です。

■本バージョンでご使用時の注意事項

本バージョンは，以下の機能に制限がありますので，当該機能に関するコマンドはご使用にならないでください。

本バージョンでの制限事項（未サポート項目）

対象機能	サポート項目	制限事項（未サポート）
OAN	－	全機能

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は，ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し，運用するシステム管理者の方を対象としています。
また，次に示す知識を理解していることを前提としています。

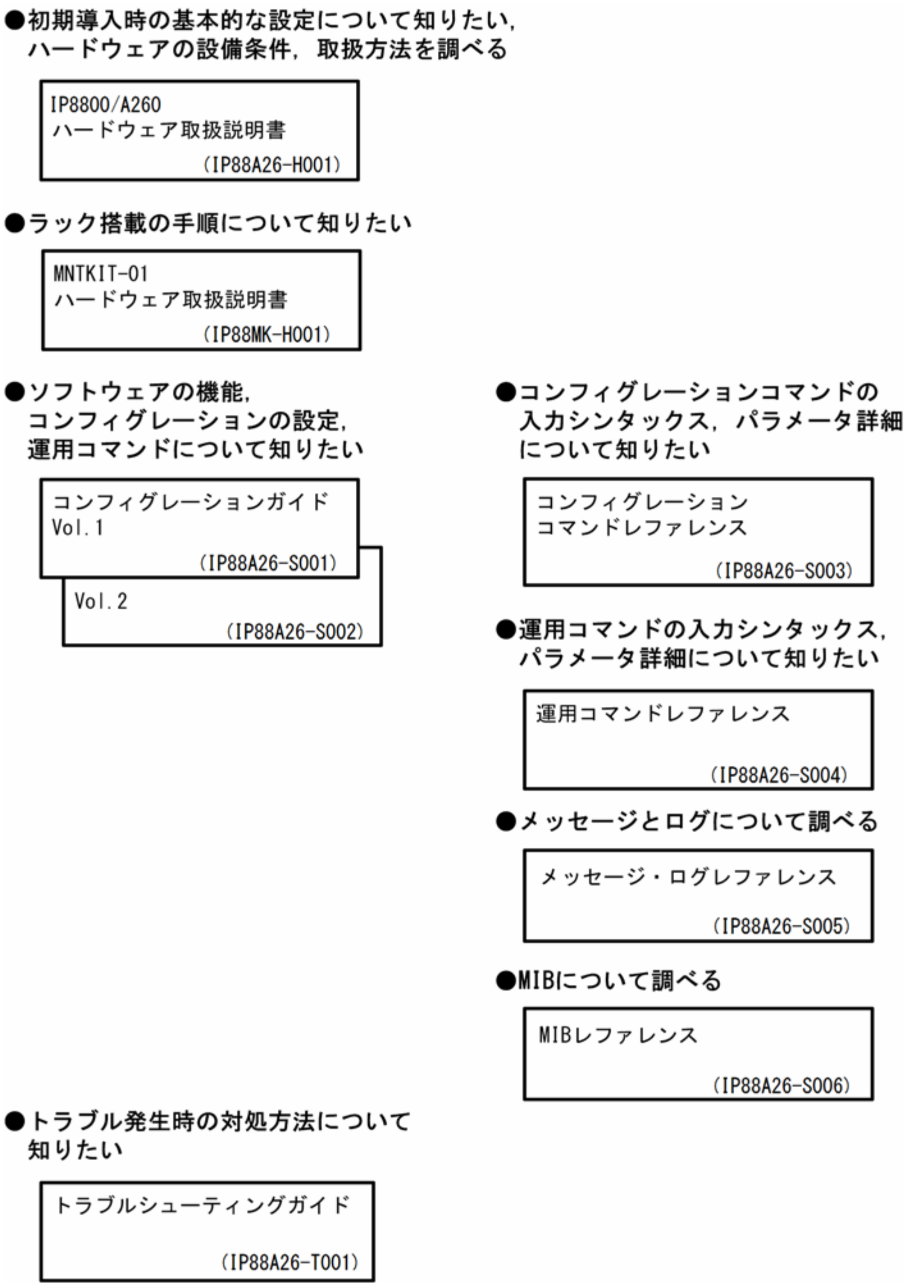
- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■このマニュアルのURL

このマニュアルの内容は下記URLに掲載しております。
https://jpn.nec.com/ip88n/

■マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。



■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4

BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second　　*bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol
CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FQDN	Fully Qualified Domain Name
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover

MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MLD	Multicast Listener Discovery
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations,Administration,and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second　　*ppsと表記する場合もあります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PoE	Power over Ethernet
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SELector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SFP+	Enhanced Small Form factor Pluggable
SML	Split Multi Link
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service

```
TPID        Tag Protocol Identifier
TTL         Time To Live
UDLD        Uni-Directional Link Detection
UDP         User Datagram Protocol
ULR         Uplink Redundant
UPC         Usage Parameter Control
UPC-RED     Usage Parameter Control - Random Early Detection
VAA         VLAN Access Agent
VLAN        Virtual LAN
VRRP        Virtual Router Redundancy Protocol
WAN         Wide Area Network
WDM         Wavelength Division Multiplexing
WFQ         Weighted Fair Queueing
WRED        Weighted Random Early Detection
WS          Work Station
WWW         World-Wide Web
XFP         10 gigabit small Form factor Pluggable
```

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト)，1MB(メガバイト)，1GB(ギガバイト)，1TB(テラバイト) はそれぞれ 1024 バイト，1024^2 バイト，1024^3 バイト，1024^4 バイトです。

目次

1 運用メッセージとログ

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用メッセージ，ログについて説明しています。

1.1　運用メッセージの確認

本装置は動作状態の変化や障害情報など，管理者に通知することを目的とした情報を運用メッセージとして運用端末に出力します。運用メッセージは運用端末に出力するほか，運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態を管理できます。

1.1.1　メッセージの種類

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を，次の表に示します。メッセージの種類のうち，本装置が出力する装置関連の障害情報やイベント情報を運用メッセージと呼びます。

表 1-1　メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］
運用メッセージ	装置関連の障害情報およびイベント情報	「2　装置関連の障害およびイベント情報」

1.1.2　運用メッセージの内容

運用メッセージのサポート内容を次の表に示します。

表 1-2　運用メッセージのサポート内容

分類	機能項目	運用メッセージ
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○

（凡例）
　○：メッセージ表示します。
　×：メッセージ表示しません。

1.1.3　運用メッセージのフォーマット

（1）入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報

入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-1　入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss   ttt～ttt
       1             2
```

1. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
2. メッセージテキスト

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-2　装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss  ee  kkkkkkkk  [iii・・・iii]  xxxxxxxx    ttt～ttt
      1         2      3           4             5           6
```

1. 時刻：メッセージで示す事象の発生した時刻を月日時分秒で表示します。
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
2. イベントレベル
3. イベント発生部位または機能
4. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
   なお，スイッチ番号はログ取得時のスイッチ番号になります。
5. メッセージ識別子
6. メッセージテキスト

イベントレベル，イベント発生部位または機能など，メッセージに含まれるコード情報はログと同じです。詳細については，「1.2.4　種別ログのフォーマット」を参照してください。

1.1.4　運用メッセージの出力

(1) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると，指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

1.2　ログの確認

1.2.1　ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと種別ログの 2 種類があります。運用ログは入力したコマンド，コマンド応答メッセージおよび運用メッセージとして運用端末に出力する情報で選択した操作情報および操作によるイベント情報をログとして時系列に取得します。種別ログは運用メッセージのうち装置関連の障害およびイベント情報の統計情報をログとして取得します。

運用ログと種別ログの特徴を次の表に示します。

表 1-3　運用ログと種別ログの特徴

項目	運用ログ	種別ログ
ログの内容	• 発生したイベントを時系列に取得します。	• 同一のイベントにつき，最も古い発生時刻と最新の発生時刻，累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする保守情報	• 入力したコマンド • コマンド応答メッセージ • 装置関連の障害およびイベント情報	• 装置関連の障害およびイベント情報
ログの取得数	• ログの取得数は 6000 エントリです。この内，先頭から 5500 エントリはすべてのログを時系列に保存します。 • 残り 500 エントリは上記 5500 エントリから溢れた古いログのうち，ログ種別が 'ERR'，'EVT' のログだけ時系列に保存します。	• ログ取得数は 500 エントリです。 • ログ取得数を超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除し，新しいログを取得します。
ログの取得数オーバ処理	• ログ取得数が 5500 エントリを超えた場合は，溢れた古いログの種類により削除処理が異なります。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'ERR'，'EVT' 以外のログは削除されます。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'ERR'，'EVT' のログは，5501 ～ 6000 エントリに保存されます。5500 エントリを超えた場合は，古いログを削除します。	• ログ取得数が 500 エントリを超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除して新しいログを取得します。

1.2.2　ログの内容

運用ログ，種別ログとして取得する情報を次の表に示します。

表 1-4　運用ログ，種別ログとして取得する情報

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
入力したコマンド	オペレータが運用端末より入力したコマンド	○	×	－
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	○	×	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○	○	「2　装置関連の障害およびイベント情報」
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○	○	

（凡例）

〇：メッセージ表示，またはログを取得します。
×：メッセージ表示しません。また，ログも取得しません。
－：該当しません。

1.2.3　運用ログのフォーマット

運用中のメッセージは運用ログとして装置内に保存します。ログの格納時は運用メッセージとして画面出力する情報に**ログ種別**を付加したフォーマットになります。

（1）入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報

入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-3　入力コマンド，コマンド応答メッセージ関連のイベント情報のフォーマット

```
kkk  mm/dd hh:mm:ss  ttt～ttt
 1         2            3
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - KEY：入力コマンドで選択した操作情報
   - RSP：コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
3. メッセージテキスト

運用コマンド show logging 実行時にログ情報が損傷して表示できない場合は，"Skipped logging data." を表示します。

（2）装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-4　装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
kkk  mm/dd hh:mm:ss  ee  kkkkkkkk  [iii・・・iii]  xxxxxxxx
 1         2         3      4            5                6

ttt～ttt
   7
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - ERR：装置のイベント発生部位ごとの障害情報
   - EVT：装置のイベント発生部位ごとのイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
3. イベントレベル
4. イベント発生部位または機能
5. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
   なお，スイッチ番号はログ取得時のスイッチ番号になります。
6. メッセージ識別子
7. メッセージテキスト

運用コマンド show logging 実行時にログ情報が損傷して表示できない場合は，"Skipped logging data." を

表示します。

1.2.4　種別ログのフォーマット

装置関連の障害情報およびイベント情報は発生順に運用ログとして保存しますが，このほかに種別ログとしても保存します。種別ログは，情報をメッセージ識別子ごとに分類した上で，同事象が最初に発生した日時および最後に発生した日時と累積回数を記録します。

種別ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-5　種別ログのフォーマット

```
ee    kkkkkkkk    [iii・・・iii]    xxxxxxxx
1        2            3                 4

  mm/dd hh:mm:ss     mm/dd hh:mm:ss    ccc
        5                  6            7
```

1. イベントレベル（E9 ～ E3）
2. イベント発生部位または機能
3. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント発生部位に依存）
   なお，スイッチ番号はログ取得時のスイッチ番号になります。
4. メッセージ識別子
5. 該当障害の最新の発生時刻
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
6. 該当障害の最旧の発生時刻
   コンフィグレーションコマンド system logging format-add 設定時は西暦（yyyy/mm/dd hh:mm:ss）を表示します。
7. 該当障害の発生回数

運用コマンド show logging 実行時にログ情報が損傷して表示できない場合は，"Skipped logging data." を表示します。

1.2.5　ログのコード情報

(1)　ログ種別

運用ログに付加されるログ種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果
- 装置が出力する動作情報
- 障害情報

ログとして取得する情報とログ種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害およびイベント情報，および種別ログにはイベントレベルを付加します。

表 1-5　ログとして取得する情報とログ種別の対応

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
入力コマンド	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンド	－
コマンド応答メッセージ	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	－

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	E9 ～ E5
	EVT	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	E4，E3，R8 ～ R5

（凡例）　－：該当しません。

(2) イベントレベル

種別ログで示されるイベントは，重要度によって 7 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-6　イベントレベルと内容

イベントレベル	表示内容（種別）	内容
9	E9（致命的障害）	装置全体が停止する障害 （装置再起動または装置運用停止）
8	E8（重度障害） R8（重度障害回復）	ファン，電源または装置の一部が停止する障害 • 障害がハードウェア部分障害の場合，該当ハードウェアの再起動を伴う
7	E7（温度異常障害） R7（温度異常障害回復）	温度異常に関する情報
6	E6 R6	未使用
5	E5 R5	未使用
4	E4（ネットワーク障害）	回線に関する情報（LAN）
3	E3（警告）	警告

なお，イベントレベル E9 から E5 の障害が回復した場合，各レベルに対応して R8 から R5 までのレベル表示で運用メッセージを出力します。また，E9 から E5 の障害が発生した場合，運用ログおよび種別ログを内蔵フラッシュメモリに自動保存をします。

(3) イベント発生部位

種別ログでは発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-7　イベント発生部位

識別子	イベント発生部位または機能
CONSOLE	コンソール操作
STACK	スタック制御機能
SESSION	Telnet/ コンソール /FTP のログイン・ログアウト操作
TELNETC	Telnet クライアントのログイン・ログアウト操作
STP	スパニングツリー機能
GSRP	GSRP aware 機能
VLAN	VLAN 制御機能

識別子	イベント発生部位または機能
VLAN（Ring Protocol）	Ring Protocol 機能
VLAN（CFM）	Connectivity Fault Management 機能
SNOOP	IGMP/MLD snooping 機能
DHCP	DHCP サーバ機能
LINKAGG	リンクアグリゲーション機能
DHCPSN	DHCP snooping 機能
IP	IP 制御機能
SNMP	SNMP 機能
KERNEL	ソフトウェア制御部
NTP	NTP クライアント機能
802.1X	IEEE802.1X 認証機能
RADIUS	RADIUS 認証機能
CERTIF	MAC/Web 認証機能
HTTPD	Web 認証機能 (Web サーバ)
QOS	QoS/ 送信制御機能
FIELD	フィルタ機能
ECO	省電力機能
WHITE	ホワイトリスト機能
PORT	ポート制御機能
SFP	トランシーバ制御機能
FABRIC	スイッチングドライバ制御部
ULR	アップリンク・リダンダント機能
ROM	ROM 診断
RTC	RTC 機能
THERMO	温度センサ機能
SDCARD	SD カード制御機能
FAN	ファン制御部
LED	LED 機能
SVP	サービスプロセッサ監視機能
PWRSUP	電源制御部
PCI	PCI バス制御部
RAM	RAM 診断
FPGA	FPGA 情報
EQUIPMENT	装置制御機能
OTHER	現バージョンがサポートしていない機能※

注※

新バージョンの新機能を使用後，バージョンダウンした場合に表示される場合があります。

(4) イベント発生インタフェース識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。本装置のインタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-8　インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
GigabitEthernet <IF#>	10/100/1000BASE-T，1000BASE-X 部

（凡例）

<IF#>

・スタック動作時：<switch no.>/0/<port no.>

・スタンドアロン動作時：0/<port no.>

(5) メッセージ識別子

発生したイベントの内容をコードで示したものです。内容の詳細は「2　装置関連の障害およびイベント情報」を参照してください。

(6) 該当イベントの最新および最旧の発生時刻

該当イベントが最初に発生した時刻および最新の発生時刻を示します。

(7) 該当イベントの発生回数

該当イベントが繰り返し発生している場合にその累計を示します。累計はログの採取開始から現在までに発生したイベントの回数となります。該当イベントが 255 以上発生している場合，発生回数の表示は 255 となります。

1.2.6　ログの自動保存と参照

(1) ログの自動保存

運用ログと種別ログは，以下に示す契機で内蔵フラッシュメモリ上へ自動的に保存されます。またログの保存先を次の表に示します。

ログを自動保存する契機

1. イベントレベル E9 から E5 の重度障害が発生した場合
2. 運用コマンドの reload コマンドにより装置の再起動を行った場合
3. ppupdate に伴う装置の再起動を行った場合
4. 装置スリープに移行する場合

表 1-9　ログの保存先

ログの種類	装置内メモリの保存先
運用ログ	本装置の内蔵フラッシュメモリへ保存
種別ログ	本装置の内蔵フラッシュメモリへ保存

(2) ログの参照

運用ログおよび種別ログは show logging コマンドを使用して参照します。

(3) リモートホストでのログ取得

syslog 出力機能を使用してリモートホスト側にもログを取得できます。ただし，syslog 出力機能ではフレームロスなどによってログ情報が紛失する可能性があります。

syslog 出力機能については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス　logging facility」を参照してください。

2 装置関連の障害およびイベント情報

この章では，装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。

2.1　コンフィグレーション

2.1.1　イベント発生部位＝ CONSOLE

イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-1　イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>CONSOLE</td><td>01800000
01810001
01810002</td><td>This system started with the default configuration file. because the startup configuration file is not found.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタートアップコンフィグレーションファイルが読めませんでした。または，スタートアップコンフィグレーションファイルの中が空でした。
[対応]
運用コマンド erase startup-config，または運用コマンド set stack によりスタートアップコンフィグレーションファイルが削除されている可能性があります。再度コンフィグレーションコマンドで設定のうえ，スタートアップコンフィグレーションファイルに保存してください。スタック準備動作モード（運用コマンド set stack boot 設定）で起動した場合は，そのままご使用ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>CONSOLE</td><td>01800002</td><td>Can not execute config command.</td></tr>
<tr><td colspan="4">運用コマンド show running-config が実行できませんでした。
[対応]
再度，コマンドを実行してください。
再度コマンドを実行しても変化がない場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>CONSOLE</td><td>01800003</td><td>Configuration command syntax error. line <line number> : "<error syntax>"</td></tr>
<tr><td colspan="4"><line number> 目の <error syntax> でコマンド入力エラーが発生しました。または，<line number> 目の <error syntax> でコンフィグレーションコマンドではないため，コマンド入力エラーが発生しました。
<line number>：入力エラーが発生した行番号
<error syntax>：入力コマンド名
[対応]
運用コマンド show startup-config で表示された Config の該当行の設定を訂正入力してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>CONSOLE</td><td>01800004</td><td>This system started with an emergency configuration file, because the startup configuration file is broken.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタートアップコンフィグレーションファイルが破損しています。
[対応]
1. 異なるモデル名称の装置でバックアップしたファイルをリストアすると，スタートアップコンフィグレーションファイル破損を検知する場合があります。同じモデル名称の装置でバックアップしたファイルが存在する場合は再度リストアを行ってください。または，以下の対処を行ってください。
2. コンフィグレーションファイルを待避している場合は copy コマンドを使用し，保存しているコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルに反映してください。
3. コンフィグレーションファイルを待避していない場合は，新しくコンフィグレーションファイルを作成してください。
それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>CONSOLE</td><td>01800005</td><td>Command process stopped because master has changed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マスタ交代が発生したため，コマンド処理を中断しました。
[対応]
マスタスイッチ決定後，再度コマンドを実行してください。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-2　イベント発生部位 =CONSOLE の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	CONSOLE	01800001	**Software error.**
	装置起動時の初期化処理においてセマフォ ID 処理に異常が発生しました。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.2　スタック

2.2.1　イベント発生部位＝ STACK【OP-WLE】

イベント発生部位 =STACK の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-3　イベント発生部位 =STACK の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600002</td><td>Switch <switch no.> changed to <role> switch and initializing.</td></tr>
<tr><td colspan="4">メンバスイッチはスイッチ状態 <role> になって，切り替えを始めました。
<switch no.>：スイッチ番号
<role>：スイッチ状態
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600003</td><td>Master switch detected switch <switch no.> and adding to stack.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マスタスイッチはメンバスイッチ <switch no.> をスタックに追加します。
<switch no.>：スイッチ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600004</td><td>Switch <switch no.> was deleted from stack.</td></tr>
<tr><td colspan="4">メンバスイッチはスタック構成から削除されました。
<switch no.>：スイッチ番号
[対応]
メンバスイッチの状態，およびメンバスイッチの接続に使用しているスタックポートの状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600005</td><td>Master switch ordered switch <switch no.> to stop because master switch detected stack error(CODE).</td></tr>
<tr><td colspan="4">マスタスイッチがエラーを検出したため，マスタスイッチはこのメンバスイッチに停止を指示しました。
<switch no.>：スイッチ番号
(CODE)：メーカ解析用情報
[対応]
運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600007</td><td>Stack port(<switch no.>/<nif no.>/<port no.>) disconnected with switch <switch no.> of Machine ID <mac address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタックポートは装置 MAC アドレス <mac address> のメンバスイッチと切断しました。
<switch no.>/<nif no.>/<port no.>：スイッチ番号 /NIF 番号 (0 固定)/ ポート番号
<switch no.>：スイッチ番号（スイッチ番号を取得できなかった場合は，0 を表示）
<mac address>：装置 MAC アドレス
[対応]
スタックポートの状態，および切断されたメンバスイッチの状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600008</td><td>Master switch detected stack boot switch <mac address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マスタスイッチは準備中のメンバスイッチを検出しました。
<mac address>：MAC アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600010</td><td>Switch <switch no.> initialized as <role> switch.</td></tr>
<tr><td colspan="4">メンバスイッチはスイッチ状態 <role> として初期化が完了しました。
<switch no.>：スイッチ番号
<role>：スイッチ状態
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600011</td><td>Switch <switch no.> is in conflict with an existing stack member.</td></tr>
<tr><td colspan="4">存在するスタックメンバと競合しています。
<switch no.>：スイッチ番号
[対応]
使用していないスイッチ番号を設定してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>STACK</td><td>04600012</td><td>Member communication reset. (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタックのエラーが発生したため，メンバスイッチとの通信をリセットしました。
<switch no.>：スイッチ番号
[対応]
メンバスイッチ間の通信が不安定です。メンバスイッチ間のケーブルを確認してください。</td></tr>
</table>

● E4 情報

表 2-4　イベント発生部位 =STACK の装置関連の E4 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E4</td><td>STACK</td><td>04600013</td><td>Reinitializing stack topology.(<switch no.>/<nif no.>/<port no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタック状態不正検出のため，トポロジを再構築します。
<switch no.>/<nif no.>/<port no.> ：inactivate/activate の対象のスイッチ番号 /NIF 番号 (0 固定)/ ポート番号
[補足説明]
本メッセージを出力した際に，マスタスイッチのスタックポートを約 5 秒間閉塞します。
このため，該当のスタックポートがリンクダウンします。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-5　イベント発生部位 =STACK の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>STACK</td><td>04600006</td><td>Switch <switch no.> restarted due to stack error.(Type=x, TxSwitch=x, Qid=xxx, MsgNo=xxxxxx, RxExNo=xxxxxx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタックのエラーが発生したため，メンバスイッチを再起動しました。
<switch no.>：スイッチ番号
(Type=x, TxSwitch=x, Qid=xxx, MsgNo=xxxxxx, RxExNo=xxxxxx)：メーカ解析用情報
[対応]
本メッセージが繰り返し出力される場合は，メンバスイッチを交換してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
2	E9	STACK	04609999	**FDB SYNC: Invalid SW No. : add :mSw = x ownSw = x swCnt = x [0] = x [1] = x [2] = x [3] = x [4] = x [5] = x [6] = x [7] = x**
	スタックのエラーが発生したため，メンバスイッチを再起動しました。 add :mSw = x ownSw = x swCnt = x [0] = x ～ [7] = x : メーカ解析用情報 [対応] メンバスイッチ間の通信が不安定です。メンバスイッチ間のケーブルを確認してください。			

2.3　ログイン

2.3.1　イベント発生部位＝ SESSION

イベント発生部位 =SESSION の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-6　イベント発生部位 =SESSION の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	SESSION	00e00000	**Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS accept.**
	RADIUS 認証に成功しました。 mmmmm：RADIUS 要求 login：ユーザからのログイン要求 enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] なし。			
2	E3	SESSION	00e00001	**Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS reject.**
	RADIUS 認証に失敗しました。 mmmmm：RADIUS 要求 login：ユーザからのログイン要求 enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。 従って，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. RADIUS サーバの設定を確認してください。			
3	E3	SESSION	00e00002	**Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS no response.**
	RADIUS 認証で，RADIUS サーバから応答がありませんでした。 mmmmm：RADIUS 要求 login：ユーザからのログイン要求 enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求 xxxxxxxx：ユーザ名 [対応] 1. RADIUS サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. RADIUS サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。			
4	E3	SESSION	00e00003	**Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS server configuration is not defined.**
	RADIUS 認証用の RADIUS サーバが設定されていません。 mmmmm：RADIUS 要求 login：ユーザからのログイン要求 enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求 xxxxxxxxx：ユーザ名 [対応] RADIUS コンフィグレーションが設定されているか確認してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項
番</th><th>イベント
レベル</th><th>イベント
発生部位</th><th>メッセージ
識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00004</td><td>Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS over request.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS 認証で，RADIUS サーバへの同時最大送信数（256）を超過しました。
mmmmm：RADIUS 要求
　login：ユーザからのログイン要求
　enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
RADIUS 認証の要求負荷が高くなっています。
一時的な場合は，再度ログインを実施してください。
継続的に発生する場合は，システム構成を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00006</td><td>Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS invalid server specified.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS 認証で内部エラーが発生しました。
mmmmm：RADIUS 要求
　login：ユーザからのログイン要求
　enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00007</td><td>Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS return error. code = xx</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS 認証で内部エラーが発生しました。
mmmmm：RADIUS 要求
　login：ユーザからのログイン要求
　enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求
xxxxxxxx：ユーザ名
code = xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00008</td><td>Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS time out.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS 認証でタイムアウトが発生しました。
mmmmm：RADIUS 要求
　login：ユーザからのログイン要求
　enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
再度ログインを実施してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00100</td><td>'users file' is corrupted. Started by default.</td></tr>
<tr><td colspan="4">'users file' が壊れています。デフォルトユーザで起動しました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e00101</td><td>Failed to write 'users file'.</td></tr>
<tr><td colspan="4">'users file' ファイルの書き込みに失敗しました。
[対応]
運用コマンド format flash 実行してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02000</td><td>Unknown host address <ip address></td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet または FTP で本装置に接続しようとしましたが，<ip address> からの接続を許可しませんでした。
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセスが行われた可能性があります。<ip address> のリモートアクセスを確認してください。
2. <ip address> からのリモートアクセスを許可している場合は，コンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションの設定内容を確認してください。
3. <ip address> からのリモートアクセスを許可したい場合は，コンフィグレーションでアクセス許可を設定してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02001</td><td>Login incorrect xxxxxxxx.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ログインに失敗しました。
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
1. 本装置に対してコンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセス（アカウント，パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。
コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。
2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。従って，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。
3. 本装置に運用コマンド adduser で登録済みのアカウントかどうかを確認してください。
（確認方法：運用コマンド show users で登録内容を確認）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02002</td><td>Login refused for too many users logged in.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet または FTP で接続しようとしましたが，ログインユーザ数をオーバしたため，接続を許可しませんでした。
[対応]
1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。
2. 必要であれば，コンフィグレーションでログインできるユーザ数の制限を増加させてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02003</td><td>Login xxxxxxxx from console.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(console) でユーザ (xxxxxxxx) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02003</td><td>Login xxxxxxxx from <ip address> (vtynn).</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet(vtynn) でユーザ (xxxxxxxx from <ip address>) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
nn：0 ～ 15
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02003</td><td>Login xxxxxxxx from <ip address> (ftp).</td></tr>
<tr><td colspan="4">FTP でユーザ (xxxxxxxx from <ip address>) がログインしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02004</td><td>Logout xxxxxxxx from console.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(console) のユーザ (xxxxxxxx) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">18</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02004</td><td>Logout xxxxxxxx from <ip address> (vtynn).</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet(vtynn) のユーザ (xxxxxxxx　from <ip address>) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
nn：0 〜 15
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">19</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02004</td><td>Logout xxxxxxxx from <ip address> (ftp).</td></tr>
<tr><td colspan="4">FTP のユーザ (xxxxxxxx　from <ip address>) がログアウトしました。
xxxxxxxx：ユーザ名
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">20</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02005</td><td>Authentication mmmmm cancel xxxxxxxx.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(console) でユーザ (xxxxxxxx) がログインをキャンセルしました。
mmmmm：RADIUS 要求
　login：ユーザからのログイン要求
　enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求
xxxxxxxx：ユーザ名
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">21</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02010</td><td>Shift to a command-limited state of console<n>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コマンド限定状態に移行しました。
<n>：スイッチ番号
[対応]
1.　装置のスタック状態を確認してください。
2.　現在ログインしているユーザ数を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">22</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02011</td><td>Remove a command-limited state of console<n>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コマンド限定状態を解除しました。
<n>：スイッチ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">23</td><td>E3</td><td>SESSION</td><td>00e02012</td><td>Login failed console<n> because master has changed.</td></tr>
<tr><td colspan="4">マスタ交代が発生中のため，ログインに失敗しました。
<n>：スイッチ番号
[対応]
マスタスイッチが決定するまでログインをお待ちください。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-7　イベント発生部位 =SESSION の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	SESSION	00e00002	**Authentication mmmmm xxxxxxxx RADIUS message queue error. errno = xx**
	RADIUS 認証で内部エラー（メッセージ queue 異常応答）が発生しました。 mmmmm：RADIUS 要求 login：ユーザからのログイン要求 enable：装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求 xxxxxxxx：ユーザ名 errno=xx：メーカ解析用情報 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.3.2　イベント発生部位＝ TELNETC

イベント発生部位 =TELNETC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-8　イベント発生部位 =TELNETC の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	TELNETC	01460101	**close session <ip address> (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザにより強制切断されました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。			
2	E3	TELNETC	01460102	**close session <ip address> (Telnet)**
	Telnet のユーザにより強制切断されました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。			
3	E3	TELNETC	01460103	**disconnected of logout <ip address> (Serial)**
	RS-232C(Serial) のユーザにより Telnet クライアントセッションは正常にログアウトしました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。			
4	E3	TELNETC	01460104	**disconnected of logout <ip address> (Telnet)**
	Telnet のユーザにより Telnet クライアントセッションは正常にログアウトしました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460105</td><td>socket open error</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホストとの接続に失敗しました。
[対応]
再度ログインしてください。
継続的に発生する場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460106</td><td>socket option set error</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホストとの接続に失敗しました。
[対応]
再度ログインしてください。
継続的に発生する場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460107</td><td>connection time out</td></tr>
<tr><td colspan="4">接続はタイムアウトにより失敗しました。
[対応]
相手装置が Telnet ログインを許可しているか確認して，再度ログインしてください。
継続的に発生する場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460108</td><td>rejection echo option of server</td></tr>
<tr><td colspan="4">エコー要求に拒否されました。
[対応]
継続的に発生する場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460109</td><td>rejection full duplex option of server</td></tr>
<tr><td colspan="4">全二重通信要求に拒否されました。
[対応]
継続的に発生する場合は，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>0146010a</td><td>disconnected <ip address> (Serial)</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(Serial) のユーザから Telnet クライアントセッションが切断されました。
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>0146010b</td><td>disconnected <ip address> (Telnet)</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet のユーザから Telnet クライアントセッションが切断されました。
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460111</td><td>connected to <ip address> (Serial)</td></tr>
<tr><td colspan="4">RS-232C(Serial) のユーザによる Telnet クライアントログインは正常接続しました。
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E3</td><td>TELNETC</td><td>01460112</td><td>connected to <ip address> (Telnet)</td></tr>
<tr><td colspan="4">Telnet のユーザによる Telnet クライアントログインは正常接続しました。
<ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
14	E3	TELNETC	01460113	**connection network unreachable <ip address>**
	ホストとの接続に失敗しました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] 1. 接続相手の IP アドレスが正しいか確認してください。 2. 接続相手への Ping が通るか確認してください。			
15	E3	TELNETC	01460114	**connection no route to host <ip address>**
	ホストとの接続に失敗しました。 <ip address>：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] 1. 接続相手の IP アドレスが正しいか確認してください。 2. 接続相手への Ping が通るか確認してください。			

2.4　プロトコル

2.4.1　イベント発生部位＝ STP

イベント発生部位 =STP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-9　イベント発生部位 =STP の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100002</td><td>(<mode>) : This bridge becomes the Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置がルートブリッジになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100003</td><td>(<mode>) : This bridge becomes the Designated Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が指定ブリッジになりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100006</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100007</td><td>(<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">トポロジ変更 BPDU を受信しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
5	E3	STP	00100011	**(<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(<IF#>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 <mode>：スパニングツリー種別 • single：シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST：マルチプルスパニングツリー <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。			
6	E3	STP	00100012	**(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(ChGr:<Channel group#>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 <mode>：スパニングツリー種別 • single：シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。			
7	E3	STP	00100013	**(<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(ChGr:<Channel group#>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 <mode>：スパニングツリー種別 • single：シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST：マルチプルスパニングツリー <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。			
8	E3	STP	00100014	**(<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(ChGr:<Channel group#>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 <mode>：スパニングツリー種別 • single：シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST：マルチプルスパニングツリー <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。			
9	E3	STP	00100022	**: Cleared MAC Address Table entry.**
	トポロジ変更 BPDU を受信したため，MAC アドレステーブルのエントリをクリアしました。 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100023</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100024</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100025</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100026</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100027</td><td>(MST) : This bridge becomes the CIST Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が CIST ルートブリッジになりました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100028</td><td>(CIST) : This bridge becomes the CIST Regional Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100029</td><td>(MST Instance <MSTI ID>) : This bridge becomes the MSTI Regional Root Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。
<MSTI ID> : MST インスタンス ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100031</td><td>(CIST) : This bridge becomes the CIST Regional Designated Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">18</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100032</td><td>(MST Instance <MSTI ID>) : This bridge becomes the MSTI Regional Designated Bridge.</td></tr>
<tr><td colspan="4">本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。
<MSTI ID> : MST インスタンス ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">19</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100042</td><td>(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(VLID:<Link ID>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。
<mode> : スパニングツリー種別
• single : シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID> : PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST : マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID> : マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Link ID> : 仮想リンク ID
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">20</td><td>E3</td><td>STP</td><td>00100043</td><td>(<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(VLID:<Link ID>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">トポロジ変更 BPDU を受信しました。
<mode> : スパニングツリー種別
• single : シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID> : PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST : マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID> : マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Link ID> : 仮想リンク ID
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
21	E3	STP	00100044	**(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(VLID:<Link ID>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 <mode>：スパニングツリー種別 ・ single：シングルスパニングツリー ・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID ・ CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） ・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <Link ID>：仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。			
22	E3	STP	00100045	**(<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(VLID:<Link ID>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 <mode>：スパニングツリー種別 ・ single：シングルスパニングツリー ・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID ・ CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） ・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <Link ID>：仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。			

● E4 情報

表 2-10　イベント発生部位 =STP の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	STP	00100008	**(<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(<IF#>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 <mode>：スパニングツリー種別 ・ single：シングルスパニングツリー ・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID ・ CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） ・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100009</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがブロッキング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100010</td><td>(<mode>) : Port status becomes Down - BPDU received on the BPDU GUARD port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST：マルチプルスパニングツリー

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100015</td><td>(<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port (ChGr : <Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがフォワーディング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100016</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがブロッキング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100017</td><td>(<mode>) : Port status becomes Down - BPDU received on the BPDU GUARD port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。
<mode>：スパニングツリー種別
・ single：シングルスパニングツリー
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
・ MST：マルチプルスパニングツリー

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
回線の状態を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100037</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(<IF#>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.</td></tr>
<tr><td colspan="4">アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100038</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<Channel group#>), because IEEE802.1Q Tagged BPDU was received from the port which is not trunk port.</td></tr>
<tr><td colspan="4">アクセスポート，プロトコルポート，MAC ポートのどれかを設定（Untagged フレームを使用）しているにも関わらず IEEE802.1Q Tag が付いた BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100039</td><td>: Exceeded the number of the maximum spanning tree.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スパニングツリーで収容できるツリー数を超えました。今後はツリーの追加ができません。
[対応]
ネットワーク構成を見直すか，シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。ただし，多数の VLAN を使用している場合，起動時に本ログが採取されることがありますが，PVST+ を使用していなければ対応不要です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100040</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
・ single：シングルスパニングツリー
・ PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
・ CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
・ MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100041</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(ChGr:<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にします。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100047</td><td>(<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(VLID:<Link ID>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがフォワーディング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Link ID>：仮想リンク ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E4</td><td>STP</td><td>00100048</td><td>(<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(VLID:<Link ID>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポートがブロッキング状態になりました。
<mode>：スパニングツリー種別
• single：シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <VLAN ID>：PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <MSTI ID>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID

<Link ID>：仮想リンク ID
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-11　イベント発生部位 =STP の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>STP</td><td>00100000</td><td><comment></td></tr>
<tr><td colspan="4">スパニングツリーで予想外の状態が発生しました。
<comment>：原因情報（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.2　イベント発生部位＝ GSRP

イベント発生部位 =GSRP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-12　イベント発生部位 =GSRP の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	GSRP	00200015	**GSRP aware : MAC Address Table entry cleared, because GSRP flush request received on port <port list>, GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> Source MAC address <mac address>.**
	GSRP flush request フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。 <port list>：インタフェースポート番号 <gsrp group id>：GSRP グループ番号（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） <vlan group id>：VLAN グループ番号（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） <mac address>：MAC アドレス（GSRP flush request フレームを送信した GSRP スイッチの情報） [対応] なし。			

2.4.3　イベント発生部位＝ VLAN

イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-13　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	VLAN	00700005	**The MAC-VLAN MAC Address entry is replaced from dynamic with Configuration.**
	MAC VLAN 動的 MAC アドレスエントリがコンフィグレーションコマンド mac-address のエントリと重複したため，動的 MAC アドレスエントリをコンフィグレーションコマンド mac-address のエントリに置き換えました。 [対応] なし。			
2	E3	VLAN	0070000a	**VLAN (<VLAN ID>) is auto-registered on the port(<IF#>).**
	自動 VLAN 割当により，ポートに自動的に VLAN を登録しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
3	E3	VLAN	0070000b	**VLAN (<VLAN ID>) is auto-unregistered on the port(<IF#>).**
	自動 VLAN 割当解除により，ポートから自動的に VLAN を削除しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
4	E3	VLAN	0070000c	**VLAN (<VLAN ID>) is auto-registered on the channel(<Channel group#>).**
	自動 VLAN 割当により，チャネルに自動的に VLAN を登録しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
5	E3	VLAN	0070000d	**VLAN (<VLAN ID>) is auto-unregistered on the channel(<Channel group#>).**
	自動 VLAN 割当解除により，チャネルから自動的に VLAN を削除しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] なし。			
6	E3	VLAN	0070000e	**Sum of number of VLAN on ports exceeded capacity.**
	ポートごとの VLAN 数の合計が装置の収容条件を超えました。 [対応] ポートごとの VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，装置を再起動してください。			
7	E3	VLAN	00700010	**The number of AXRP/MST VLAN combination has exceeded the hardware limit.**
	過渡的に，ハードウェアリソースの制限を超過しました。 [対応] コンフィグレーションを保存して装置を再起動してください。			
8	E3	VLAN	00700019	**MAC Address Table entry cleared, because flush request received on port (<port number>), Source MAC address <mac address>(<func name>).**
	Flush Request フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。 <port number>：インタフェースポート番号 (0/n)，またはチャネルグループ番号 (CH:n) <mac address>：フレーム送信元の装置 MAC アドレス <func name>：フレーム送信元機能名 [対応] なし。			

● E4 情報

表 2-14　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	VLAN	00700001	**VLAN Status is Up (<VLAN ID List>).【スタック動作時】** **VLAN (<VLAN ID>) Status is Up.【スタンドアロン動作時】**
	VLAN 状態が UP 状態になりました。 <VLAN ID>：VLAN ID <VLAN ID List>：VLAN ID リスト（リストが長すぎる場合は複数ログに分割して登録します。） [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
2	E4	VLAN	00700002	**VLAN Status is Down (<VLAN ID List>).【スタック動作時】** **VLAN (<VLAN ID>) Status is Down.【スタンドアロン動作時】**
	VLAN 状態が DOWN 状態になりました。 <VLAN ID>：VLAN ID <VLAN ID List>：VLAN ID リスト（リストが長すぎる場合は複数ログに分割して登録します。） [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。			
3	E4	VLAN	00700003	**The MAC-VLAN MAC Address Configuration can’t be registered at hardware tables.**
	MAC VLAN のコンフィグレーションコマンド mac-address によるエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [対応] システム構成の見直しを実施してください。			
4	E4	VLAN	00700004	**The MAC-VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	MAC VLAN の 動的 MAC アドレスエントリがハードウェアに設定できませんでした。 [対応] システム構成の見直しを実施してください。			
5	E4	VLAN	00700007	**The MAC Address entry can't be registered at hardware tables(VLAN:<VLAN ID> MAC address:<MAC address>).**
	MAC アドレスエントリがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 （MAC アドレステーブルでハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しました） <VLAN ID>：VLAN ID <MAC address>：MAC アドレス [対応] なし。			
6	E4	VLAN	0070000f	**The vlan mapping configuration can't be registered at hardware tables.**
	Tag 変換情報がハードウェアテーブルに設定できませんでした。 （Tag 変換情報でハッシュの競合によるハッシュエントリオーバーが発生しました。） [対応] なし。			
7	E4	VLAN	00700100	**L2LD : Port(<IF#>) inactivated because of loop detection. from port(<IF#>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。			
8	E4	VLAN	00700101	**L2LD : Port(<IF#>) inactivated because of loop detection. from ChGr(<Channel group#>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700102</td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) inactivated because of loop detection. from port(<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700103</td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) inactivated because of loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700104</td><td>L2LD : Port(<IF#>) loop detection. from port (<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ (00700104 ～ 00700107) を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700105</td><td>L2LD : Port(<IF#>) loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ (00700104 ～ 00700107) を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700106</td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) loop detection. from port (<IF#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ (00700104 ～ 00700107) を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700107</td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) loop detection. from ChGr(<Channel group#>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ループ障害を検出しました。
また，ループ障害検出ログ (00700104 ～ 00700107) を出力後，1 分間はループ障害検出ログが出力されないよう抑止されます。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
ネットワーク構成を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700108</td><td>L2LD : ChGr(<Channel group#>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.</td></tr>
<tr><td colspan="4">L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの閉塞を解除します。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
16	E4	VLAN	00700109	**L2LD : Port(<IF#>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの閉塞を解除します。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] なし。			
17	E4	VLAN	0070010a	**L2LD : L2loop detection frame cannot be sent in the port where capacity was exceeded.**
	L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えています。収容条件を超えたポートで L2 ループ検知フレームを送信できません。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。 ただし，多数の VLAN を使用した場合，装置起動時に本ログが採取されることがあります。 本ログ採取時，運用コマンド show loop detection にて Configuration の値が Capacity 以下の場合は問題ありません。			
18	E4	VLAN	0070010b	**L2LD : Peer-link loop detection. from port (<IF#>).**
	ループ障害を検出しました。 <IF#> : インタフェースポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。			
19	E4	VLAN	0070010c	**L2LD : Peer-link loop detection. from ChGr(<Channel group#>).**
	ループ障害を検出しました。 <Channel group#> : チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。			

● E9 情報

表 2-15　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	VLAN	00700201	**L2LD : SendTask process VLANCallBackSetErr[xx].**
	VLANCALLBACK 関数登録時にエラーが発生しました。 xx : 原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.4.4 イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）

イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-16 イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700702</td><td>AXRP <Ring ID> : cleared MAC address table by receiving flush request frames.</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，出力先がリングポートである MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700703</td><td>AXRP <Ring ID> : cleared MAC address table by timeout of forwarding-shift-timer.</td></tr>
<tr><td colspan="4">forwarding-shift-time のタイムアウトによって，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，トランジットノードで forwarding-shift-time によってタイムアウトを検出し，MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700771</td><td>AXRP <Ring ID> : activated state monitoring.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol の状態監視を開始しました。このメッセージは，Ring Protocol の初期化が完了した場合，および Ring Protocol のコンフィグレーションの動作モードをマスタモードに設定した場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700772</td><td>AXRP <Ring ID> : detected fault recovery by receiving health check frames.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックフレームを受信し，障害復旧を検出した場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700773</td><td>AXRP(virtual-link <Link ID>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol で仮想リンクのフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルエントリをクリアしました。このメッセージは，すべてのリングポートで学習している MAC アドレステーブルエントリをクリアします。
<Link ID>：仮想リンク ID
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>VLAN</td><td>00700774</td><td>AXRP <Ring ID> : detected fault recovery by receiving health check frames, but suspended the fault recovery process.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しましたが，設定によって経路の切り戻しが抑止されました。このメッセージは，マスタノードで障害復旧を検出した場合に出力されます。
<Ring ID>：リング ID
[対応]
コンフィグレーションコマンド preempt-delay で指定した抑止時間のタイムアウトを待つか，clear axrp preempt-delay コマンドで手動で経路切り戻し抑止状態を解除してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
7	E3	VLAN	00700775	**AXRP <Ring ID> : canceled the suspension of the fault recovery process.**
	Ring Protocol の経路切り戻し抑止状態の解除が実行されました。このメッセージは，マスタノードで経路切り戻し抑止中に経路切り戻し抑止状態が解除された場合に出力されます。 <Ring ID> : リング ID [対応] なし。			
8	E3	VLAN	00700776	**AXRP <Ring ID> : activated multi fault state monitoring.**
	Ring Protocol の多重障害監視を開始しました。 <Ring ID> : リング ID [対応] なし。			
9	E3	VLAN	00700777	**AXRP <Ring ID> : detected multi fault recovery by receiving multi fault detection frames.**
	Ring Protocol の多重障害監視で多重障害の復旧を検出しました。このメッセージは，共有ノードで多重障害監視フレームを受信して多重障害の復旧を検出した場合に出力されます。 <Ring ID> : リング ID [対応] なし。			
10	E3	VLAN	00700778	**AXRP (multi-fault-detection <Ring ID>) : cleared MAC address table by receiving flush frames.**
	多重障害用のフラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，多重障害監視を適用しているリング ID に対応したリングポートの MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 <Ring ID> : リング ID [対応] なし。			

● E4 情報

表 2-17　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	VLAN	00700779	**AXRP <Ring ID> : detected fault by health check timeout.**
	Ring Protocol の状態監視で障害を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックタイムアウトを検出した場合に出力されます。 <Ring ID> : リング ID [対応] 該当リング内のリンクまたはノードに障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。			
2	E4	VLAN	00700780	**AXRP <Ring ID> : detected multi fault by multi fault detection timeout.**
	Ring Protocol の多重障害監視で多重障害を検出しました。このメッセージは，共有ノードで多重障害監視機能がタイムアウトを検出した場合に出力されます。 <Ring ID> : リング ID [対応] 該当リング内で多重障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。			

● E9 情報

表 2-18　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>VLAN</td><td>00700701</td><td>Swd Configuration Error. <comment></td></tr>
<tr><td colspan="4">Ring Protocol のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。
<comment>：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.5　イベント発生部位＝ VLAN（CFM）

イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E4 情報

表 2-19　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の E4 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700500</td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of OtherCCM in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（OtherCCM）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置を同一 MA として認識していません。
ドメインレベル，MA 識別番号，ドメイン名称，MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700501</td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of ErrorCCM in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（ErrorCCM）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置と構成が一致していません。
MEP ID が対向装置と異なっているか，送信間隔（interval）が対向装置と一致しているか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>00700502</td><td>MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of Timeout in MEP <MEPID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">該当 MEP で障害（Timeout）を検出しました。
<Level>：ドメインレベル
<No.>：MA 識別番号
<MEPID>：MEP ID
[対応]
対向装置から CCM を受信していません。
ネットワークの状態を確認してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
4	E4	VLAN	00700503	**MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of PortState in MEP <MEPID>.**
	該当 MEP で障害（PortState）を検出しました。 <Level>：ドメインレベル <No.>：MA 識別番号 <MEPID>：MEP ID [対応] 対向装置の回線障害またはポートのブロッキング状態を検出しました。 対向装置の状態を確認してください。			
5	E4	VLAN	00700504	**MD Level <Level> MA <No.>: detected on fault of RDI in MEP <MEPID>.**
	該当 MEP で障害（RDI）を検出しました。 <Level>：ドメインレベル <No.>：MA 識別番号 <MEPID>：MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。			

● E9 情報

表 2-20　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	VLAN	00700510	**Swd Configuration Error. (Code1=xx Code2=xx)**
	CFM のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	E9	VLAN	00700511	**Could not start CFM function. (Code=xx)**
	CFM 機能を起動できませんでした。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.4.6　イベント発生部位＝ SNOOP

イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-21　イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e10000</td><td>The number of the snooping entry exceeded the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">IGMP snooping で学習したグループ数と MLD snooping で学習したグループ数の和が収容条件を超えました。新しく学習した IGMP グループ情報を廃棄しました。この運用ログを出力した後，125 秒間は同じ運用ログが抑止されます。
[対応]
収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e10001</td><td>The number of the snooping group-port entry exceeded the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">スタック動作時に IGMP snooping で学習した各グループのポート数の和が装置の収容条件を超えました。新しく学習した IGMP グループ情報を廃棄しました。この運用ログを出力した後，125 秒間は同じ運用ログが抑止されます。
[対応]
収容条件を超えているので，グループポートのエントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e11100</td><td>IGMP querier changed on VLAN <VLAN ID> - lost IGMP querier address <IPv4 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記の理由により，IPv4 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv4 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。
VLAN<VLAN ID> 上の IGMP クエリア <IPv4 address> からの広告（IGMP Query）がなくなったため，IGMP クエリア情報を削除しました。
本装置が IGMP クエリアの場合に，VLAN<VLAN ID> の IP アドレスを削除したため，IGMP クエリア情報を削除しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
[対応]
1. IGMP クエリア <IPv4 address> との接続を確認してください。
2. IGMP クエリア変更メッセージ（IGMP querier changed on VLAN <VLAN ID> - new IGMP querier address <IPv4 address>.）が出力されているか確認してください。
3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ip igmp snooping querier を実行して本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e11200</td><td>IGMP querier changed on VLAN <VLAN ID> - new IGMP querier address <IPv4 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上に新たな IGMP クエリアを確認したため，IGMP クエリアを <IPv4 address> に変更しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e11300</td><td>IPv4 address not defined on VLAN <VLAN ID>, IGMP querier function stopped.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上の IGMP クエリアは IPv4 アドレスが設定されていないため停止しています。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
1. 当該 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。
2. show igmp-snooping コマンドを使用し，当該 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e20000</td><td>The number of the snooping entry exceeded the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MLD snooping で学習したグループ数と IGMP snooping で学習したグループ数の和が収容条件を超えました。新しく学習した MLD グループ情報を廃棄しました。この運用ログを出力した後，125 秒間は同じ運用ログが抑止されます。
[対応]
収容条件を超えているので，エントリ数を削減できるようシステム構成や設定を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e21100</td><td>MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - lost MLD querier address <IPv6 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記の理由により，IPv6 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv6 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。
VLAN <VLAN ID> 上の MLD クエリア <IPv6 address> からの広告（MLD Query）がなくなったため，MLD クエリア情報を削除しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv6 address>：IPv6 アドレス
[対応]
1. MLD クエリア <IPv6 address> との接続を確認してください。
2. MLD クエリア変更メッセージ(MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - new MLD querier address <IPv6 address>.）が出力されているか確認してください。
3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ipv6 mld snooping querier を実行して本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e21200</td><td>MLD querier changed on VLAN <VLAN ID> - new MLD querier address <IPv6 address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上に新たな MLD クエリアを確認したため，MLD クエリアを <IPv6 address> に変更しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IPv6 address>：IPv6 アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e21300</td><td>MLD query message source address not defined on VLAN <VLAN ID>,MLD querier function stopped.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> 上の MLD クエリアは MLD query メッセージ送信元 IP アドレスが設定されていないため停止しています。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
1. 当該 VLAN に MLD snooping 送信元 IPv6 アドレスを設定してください。
2. show mld-snooping コマンドを使用し，当該 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e30000</td><td>Multicast router discovery table overflow.</td></tr>
<tr><td colspan="4">検知したマルチキャストルータ数が収容条件を超過したので学習できません。
[対応]
不要なマルチキャストルータ情報を消去するか，構成を見直してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e31100</td><td>Found <Type> router <IPv4 address> on VLAN <VLAN ID> <IF#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">検知手段 <Type> により，VLAN<VLAN ID><IF#> でマルチキャストルータ <IPv4 address> を検知しました。
<Type>：検知手段（IGMPv1，IGMPv2，IGMPv3，PIM）
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号（ポート番号またはチャネルグループ番号）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>SNOOP</td><td>02e31200</td><td>Lost <Type> router <IPv4 address> on VLAN <VLAN ID> <IF#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">検知手段 <Type> により VLAN<VLAN ID><IF#> で検出した，マルチキャストルータ <IPv4 address> を削除しました。
<Type>：検知手段（IGMPv1，IGMPv2，IGMPv3，PIM）
<IPv4 address>：IPv4 アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号（ポート番号またはチャネルグループ番号）
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-22　イベント発生部位 =SNOOP の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13100</td><td>IGMPsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる IGMP snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13110</td><td>IGMPsnooping: set snooping enable to filter by config, error(error code) occurred on VLAN <VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる IGMP snooping 開始設定でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13200</td><td>IGMPsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">IGMP snooping が有効な VLAN <VLAN ID> 削除による，ハードウェアへの IGMP snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13301</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by snoop start, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> の IGMP snooping 開始時，ハードウェアへのルータポート（port<IF#>）でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13310</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート（port<IF#>）設定解除時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13311</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート（port<IF#>）設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13320</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by excluded vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に収容されているポート（port<IF#>）が VLAN から離脱したことによるハードウェアへの IGMP snooping ルータポート設定時解除にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e13321</td><td>IGMPsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by accommodated to vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に未収容のポート（port<IF#>）が VLAN へ収容されたことによるハードウェアへのルータポート設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23100</td><td>MLDsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる MLD snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23110</td><td>MLDsnooping: set snooping enable to filter by config, error(error code) occurred on VLAN <VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> で，ハードウェアへのコンフィグレーションによる MLD snooping 開始設定でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23200</td><td>MLDsnooping: set snooping disable to filter by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MLD snooping が有効な VLAN <VLAN ID> 削除による，ハードウェアへの MLD snooping 設定解除でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23301</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by snoop start, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN <VLAN ID> の MLD snooping 開始時，ハードウェアへのルータポート（port<IF#>）でエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23310</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート（port<IF#>）設定解除時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23311</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by config, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">コンフィグレーションによるハードウェアへの VLAN <VLAN ID> のルータポート（port<IF#>）設定時にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E9</td><td>SNOOP</td><td>02e23320</td><td>MLDsnooping: set port<IF#> mrouter disable to driver by excluded vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に収容されているポート（port<IF#>）が VLAN から離脱したことによるハードウェアへの MLD snooping ルータポート設定時解除にエラー（error code）が発生しました。
<VLAN ID>：VLAN ID
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
16	E9	SNOOP	02e23321	**MLDsnooping: set port<IF#> mrouter enable to driver by accommodated to vlan, error (error code) occurred on VLAN<VLAN ID>.**
	ルータポート設定有効で，VLAN<VLAN ID> に未収容のポート（port<IF#>）が VLAN へ収容されたことによるハードウェアへのルータポート設定時にエラー（error code）が発生しました。 <VLAN ID>：VLAN ID <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.4.7　イベント発生部位＝ DHCP

イベント発生部位 =DHCP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-23　イベント発生部位 =DHCP の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	DHCP	01100101	**The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <SUBNET_ADDRESS>.**
	DHCP サーバからリースする未使用の IP アドレスが，サブネットアドレスにありません。 <SUBNET_ADDRESS>：サブネットアドレス [対応] DHCP サーバから割り当て可能なサブネットの，DHCP クライアントの最大数を調査してください。			
2	E3	DHCP	01100102	**The dhcp_server reused the abandoned IP address <IP_ADDRESS>.**
	DHCP サーバは，廃棄された IP アドレスを再利用しました。 <IP_ADDRESS>：再利用した IP アドレス値 [対応] なし。			
3	E3	DHCP	01100103	**The IP address <IP_ADDRESS> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.**
	DHCP サーバが貸し出そうとした IP アドレスは，すでに他で使用されています。 <IP_ADDRESS>：貸し出そうとした IP アドレス値 [対応] なし。			

● E9 情報

表 2-24　イベント発生部位 =DHCP の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>DHCP</td><td>01100901</td><td>Internal error occurred. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">内部処理エラーが発生しました。
xx ＝原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.4.8　イベント発生部位＝ LINKAGG

イベント発生部位 =LINKAGG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-25　イベント発生部位 =LINKAGG の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>LINKAGG</td><td>00500003</td><td>Port <IF#> detached from Channel Group <Channel group#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート <IF#> はチャネルグループから離脱しました。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
1.　相手装置と正しく接続しているか確認してください。
2.　相手装置の設定が正しいか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>LINKAGG</td><td>00500004</td><td>Port <IF#> attached to Channel Group <Channel group#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">チャネルグループにポートが集約されました。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● E4 情報

表 2-26　イベント発生部位 =LINKAGG の装置関連の E4 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E4</td><td>LINKAGG</td><td>00500001</td><td>Channel Group <Channel group#> is Down.</td></tr>
<tr><td colspan="4">チャネルグループが Down 状態になりました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
1.　回線がダウンしていないか確認してください。
2.　回線が半二重になっていないか確認してください。
3.　相手装置の LACP 設定が正しいか確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E4</td><td>LINKAGG</td><td>00500002</td><td>Channel Group <Channel group#> is Up.</td></tr>
<tr><td colspan="4">チャネルグループが Up 状態になりました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.4.9　イベント発生部位＝ DHCPSN

イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-27　イベント発生部位 =DHCPSN の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100001</td><td>The binding entry created(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPACK/BOOTPREPLY 受信により，バインディングデータベースを生成しました。
なお，スタンドアロン動作時は，装置起動時にバインディングデータベースを復元する際にも，このログが出力されます。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100002</td><td>The binding entry timeout(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">エージング時間満了によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100003</td><td>The binding entry was deleted by received DHCPRELEASE(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPRELEASE 受信によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100004</td><td>The binding entry was deleted by received DHCPDECLINE(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPDECLINE 受信によりバインディングデータベースを削除しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100005</td><td>The binding entry is replaced from dynamic with Configuration(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ダイナミック学習したバインディングデータベースと同一の IP アドレス /VLAN 番号を，コンフィグレーションコマンド ip source binding でバンディングデータベースに設定されたため，バインディングデータベースの内容をコンフィグレーションコマンド ip source binding の設定内容に変更しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100006</td><td>The binding entry was renewed(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCPACK/BOOTPREPLY 受信により，DHCP クライアント端末へ配布した IP アドレスに対応する MAC アドレスまたは接続ポートの変更を検出したので，バインディングデータベースを更新しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100007</td><td>It failed to make binding entry because interface unknown(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCP クライアント端末の接続ポートが不明のため，バインディングデータベースの生成 / 更新に失敗しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100008</td><td>DHCP server packets were received at an untrust port(<IF_NUMBER>/<VLAN ID>/<MAC_ADDRESS>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">不正な DHCP サーバを検出しました。本メッセージはポート単位で 5 分間に 1 回メッセージを出力します。
<IF_NUMBER>：DHCP パケットを受信したインタフェース種別と番号
・ Port=<IF#>：インタフェースポート番号
・ ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号

<VLAN ID><MAC_ADDRESS>/<IP_ADDRESS>：DHCP サーバ情報
<VLAN ID>：VLAN ID
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
接続されている装置を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100009</td><td>Observed ARP flood, some packets shall be discarded (<IF_NUMBER>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ARP パケットの受信数がコンフィグレーションコマンド ip arp inspection limit rate で設定した受信レートを超過しました。
<IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号
・ Port=<IF#>：インタフェースポート番号
・ ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号

[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>0310000a</td><td>ARP flood ebbed (<IF_NUMBER>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">ARP パケットの受信レート設定を超過していない時間が 30 秒間継続しました。(以降に受信レート超過が発生すると，再度受信レート超過のイベントが採取されます。)
<IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号
・ Port=<IF#>：インタフェースポート番号
・ ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号

[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>0310000b</td><td>Observed DHCP flood, some packets shall be discarded (<IF_NUMBER>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCP パケットの受信数がコンフィグレーションコマンド ip dhcp snooping limit rate で設定した受信レートを超過しました。
<IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号
・ Port=<IF#>：インタフェースポート番号
・ ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号

[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>0310000c</td><td>DHCP flood ebbed (<IF_NUMBER>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">DHCP パケットの受信レート設定を超過していない時間が 30 秒間継続しました。(以降に受信レート超過が発生すると，再度受信レート超過のイベントが採取されます。)
<IF_NUMBER>：受信レートを超過したインタフェース種別と番号
・ Port=<IF#>：インタフェースポート番号
・ ChGr=<Channel group#>：チャネルグループ番号

[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>0310000d</td><td>It failed to make binding entry exceeded(<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>).</td></tr>
<tr><td colspan="4">データベースエントリ不足によりバインディングデータベース生成に失敗しました。
<MAC_ADDRESS>/<VLAN ID>/<IP_ADDRESS>：DHCP クライアント端末情報
<MAC_ADDRESS>：MAC アドレス
<VLAN ID>：VLAN ID
<IP_ADDRESS>：IP アドレス
[対応]
装置の収容条件を超えました。システム構成を見直ししてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100015</td><td>It was not able to store binding database in <url>; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">バインディングデータベースを指定保存先に保存できませんでした。
<url>：指定保存先
• MC：SD メモリカード
<reason>：失敗理由
• MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
• can't access to MC by write protection.（MC が読み込み専用です）
• it is accessed MC by other processing.（他の処理で MC を使用中です）
• MC file is not writing.（MC 内のファイルに書き込みができません）
上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100016</td><td>It was not able to store binding database in <url>; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">バインディングデータベースを指定保存先に保存できませんでした。
<url>：指定保存先
• flash：内蔵フラッシュメモリ
<reason>：失敗理由
• it is accessed flash by other processing.（他の処理で内蔵フラッシュメモリを使用中です）
上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100017</td><td>It succeeded in the restored of binding database from <url>. (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">指定保存先からバインディングデータベースを復元しました。
<url>：指定保存先
• flash：内蔵フラッシュメモリ
• MC：SD メモリカード
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100018</td><td>It was not able to restore binding database from <url>; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">指定保存先からバインディングデータベースを復元できませんでした。
<url>：指定保存先
・ flash：内蔵フラッシュメモリ
・ MC：SD メモリカード

<reason>：失敗理由
・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・ MC file is not found.（MC 内のファイルが見つかりません）
・ it is accessed MC by other processing.（他の処理で MC を使用中です）
・ it is accessed flash by other processing.（他の処理で内蔵フラッシュメモリを使用中です）
・ MC file is not reading.（MC 内のファイルを読み込みできません）
・ may be broken.（コンフィグレーションで指定した保存先が壊れている可能性があります）
・ the data is not saved.（復元できるデータがありません）

上記以外の <reason> は，メーカ解析用情報
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">18</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>03100019</td><td>It succeeded in the restored of binding database from <url>; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">指定保存先からバインディングデータベースを復元しました。
<url>：指定保存先
・ flash：内蔵フラッシュメモリ
・ MC：SD メモリカード

<reason>：理由
・ the number of the dynamic entries zero.（ダイナミックエントリは 0 件でした）

<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">19</td><td>E3</td><td>DHCPSN</td><td>0310001a</td><td>It cannot store a binding database; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">バインディングデータベースを保存できません。
<reason>：失敗理由
・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・ can't access to MC by write protection.（MC が読み込み専用です）

<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
</table>

2.4.10 イベント発生部位＝ IP

イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-28 イベント発生部位 =IP の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>IP</td><td>00600001</td><td>Duplicate IP address <ipv4 address> (VLAN<VLAN ID>) on <MAC address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN<VLAN ID> インタフェースで，IPv4 アドレス重複を検出しました。
<ipv4 address>：重複を検出した IPv4 アドレス
VLAN<VLAN ID>：重複を検出した IPv4 アドレスが設定されている VLAN インタフェース番号
<MAC address>：重複した IPv4 アドレスを持つ相手装置の MAC アドレス
（ARP ペイロード中の送信元 MAC アドレス）
[対応]
本装置の VLAN インタフェースの IPv4 アドレスを変更してください。または，重複した相手装置の IPv4 アドレスを変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>IP</td><td>00600002</td><td>Duplicate IP address <ipv6 address> (VLAN<VLAN ID>) on <MAC address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">VLAN<VLAN ID> インタフェースで，IPv6 アドレス重複を検出しました。
<ipv6 address>：重複を検出した IPv6 アドレス
VLAN<VLAN ID>：重複を検出した IPv6 アドレスが設定されている VLAN インタフェース番号
<MAC address>：重複した IPv6 アドレスを持つ相手装置の MAC アドレス
（RA ペイロード中の送信元 MAC アドレス）
[対応]
本装置の VLAN インタフェースの IPv6 アドレスを変更してください。または，重複した相手装置の IPv6 アドレスを変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>IP</td><td>00600010</td><td>The number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ARP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。
また，本ログ出力後，10 分間は同一ログが出力されないよう抑止されます。
[対応]
show system コマンドで，現在の ARP テーブルのエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。
1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。
2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear arp-cache コマンドを実行し，エントリを削除してください。
3. ネットワークシステム構成を見直し，ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>IP</td><td>00600100</td><td>The number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of this system.</td></tr>
<tr><td colspan="4">NDP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えています。
また，本ログ出力後，10 分間は同一ログが出力されないよう抑止されます。
[対応]
show system コマンドで，現在の NDP テーブルのエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。
1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。
2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear ipv6 neighbors コマンドを実行し，エントリを削除してください。
3. ネットワークシステム構成を見直し，NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。</td></tr>
</table>

2.4.11　イベント発生部位＝ SNMP

イベント発生部位 =SNMP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-29　イベント発生部位 =SNMP の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>SNMP</td><td>01200001</td><td>The engineID has not been recorded.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，起動時フラッシュメモリに SNMP エンジン ID 情報が記録されませんでした。
・ 製造直後
・ 初回 ppupdate 後
・ SNMP エンジン ID を保持するセクターの内容が完全に消去されている
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>SNMP</td><td>01200002</td><td>The recorded engineID is damaged.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のどちらかの理由により，起動時フラッシュメモリに記録している SNMP エンジン ID や SNMP エンジン ID 変更後の起動回数が不正です。
・ フラッシュメモリに SNMP エンジン ID 情報を書き込む途中で不慮の再起動が発生した
・ フラッシュメモリがハードウェア的に壊れている
[対応]
運用コマンド set snmp-server engineID local で SNMP エンジン ID と起動回数を修復してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>SNMP</td><td>01200003</td><td>Flash memory driver error: xxxx.</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュメモリドライバからエラーが報告されました。エラーの影響は次に再起動したときに顕在化する可能性があります。
xxxx：メーカ解析用情報
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。再起動により発生したログ内容を確認してください。</td></tr>
</table>

2.5　装置の各部位

2.5.1　イベント発生部位＝ KERNEL

イベント発生部位 =KERNEL の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-30　イベント発生部位 =KERNEL の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	KERNEL	01f00004	**Boot cause is system fault.**
	何らかの障害が発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
2	E3	KERNEL	01f00008	**Boot cause is exception.**
	例外割り込みが発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
3	E3	KERNEL	01f00010	**Boot cause is watchdog timeout.**
	ハードウェアウォッチドッグタイムアウトが発生し，装置を再起動しました。 [対応] 運用コマンド show logging でログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。			
4	E3	KERNEL	01f00020	**Boot cause is reset button.**
	RESET スイッチが押されたため，装置を再起動しました。 [対応] なし。			
5	E3	KERNEL	01f00040	**Boot cause is expired sleep time.**
	装置スリープ期間の満了により，装置を再起動しました。 [対応] なし。			
6	E3	KERNEL	01f00060	**Boot cause is wake up from sleep by force.**
	装置スリープ状態を強制的に解除したため，装置を再起動しました。 [対応] なし。			
7	E3	KERNEL	01f00300	**System failure occurred repeating. Stop the system recovery.**
	システム障害が繰り返し発生したため，リカバリ処理を停止しました。 [対応] なし。			
8	E3	KERNEL	01f01100	**Logging started.**
	装置起動時，運用ログの収集を開始しました。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
9	E3	KERNEL	01f01101	**Logging file has been damaged.**
	装置起動時に運用ログファイルの損傷（または存在しない）を検出しました。 [対応] コンフィグレーションコマンド no logging syslog-dump 設定時は，運用コマンド clear logging を実行してください。 コンフィグレーションコマンド logging syslog-dump 設定時は，運用コマンド reload を実行してください。（本コマンド実行がログ保存契機となり，ログが保存されます。）			
10	E3	KERNEL	01f01102	**Logging reference file has been damaged.**
	装置起動時に種別ログファイルの損傷（または存在しない）を検出しました。 [対応] コンフィグレーションコマンド no logging syslog-dump 設定時は，運用コマンド clear logging を実行してください。 コンフィグレーションコマンド logging syslog-dump 設定時は，運用コマンド reload を実行してください。（本コマンド実行がログ保存契機となり，ログが保存されます。）			
11	E3	KERNEL	01f10001	**Receiving many packets for CPU. (Switch <switch no.>)**
	本装置の CPU が大量のパケットを受信しています。 本ログは，本装置の CPU が大量のパケットを受信しない状態から受信する状態に変化したときに出力されます。本装置の CPU が大量のパケットを受信する状態が持続する場合，本ログは最初だけ出力されます。 <switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示） [対応] 始業時など，本装置の CPU が大量のパケットを受信して処理すると想定される時期に本ログが出力される場合は対処不要です。 本装置の CPU が大量のパケットを受信すると想定されない時期に本ログが出力され，かつ，その時期に本装置の CPU 負荷が高騰して機能に支障している場合は，運用コマンド show receive alarm dump などで不要な受信パケットを特定し，その原因を除去してください。			
12	E3	KERNEL	01f10002	**No longer receiving many packets for CPU. (Switch <switch no.>)**
	本装置の CPU が大量のパケットを受信しなくなりました。 <switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示） [対応] なし。			
13	E3	KERNEL	01f20001	**Syslog host <ip address> [port <port number>] connected.**
	syslog サーバとの TCP コネクションが確立しました。 <ip address>：syslog サーバの IP アドレス port <port number>：ポート番号（コンフィグレーションコマンド logging host で設定されている場合だけ表示します。） [対応] なし。			
14	E3	KERNEL	01f20002	**Syslog host <ip address> [port <port number>] disconnected.**
	syslog サーバとの TCP コネクションが切断されました。または，TCP コネクションを切断しました。 <ip address>：syslog サーバの IP アドレス port <port number>：ポート番号（コンフィグレーションコマンド logging host で設定されている場合だけ表示します。） [対応] 予定外のときに本事象が発生した場合は，syslog サーバ，または syslog サーバとの通信経路の状態を確認してください。			

2.5.2　イベント発生部位＝ NTP

イベント発生部位 =NTP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-31　イベント発生部位 =NTP の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	NTP	01a00111	**<ip address> becomes unreachable.**
	上位 NTP サーバ（もしくはシンメトリック接続の NTP サーバ）から有効なメッセージを受信しなくなりました。 NTP 動作モード専用です。 <ip address>：上位 NTP サーバ（もしくはシンメトリック接続の NTP サーバ）の IP アドレス [対応] 上位 NTP サーバの状態を確認してください。上位 NTP サーバとの IP 通信の状態を確認してください。			
2	E3	NTP	01a00200	**synchronizing to <ip address>.**
	以後，提示した上位 NTP サーバの時刻に同期します。 NTP 動作モード専用です。 <ip address>：上位 NTP サーバの IP アドレス [対応] なし。			
3	E3	NTP	01a00201	**lost synchronization.**
	有効な上位 NTP サーバが存在しなくなりました。 NTP 動作モード専用です。 [対応] 上位 NTP サーバの状態を確認してください。上位 NTP サーバとの IP 通信の状態を確認してください。			
4	E3	NTP	01a00300	**step forward x.xxx seconds.**
	提示秒数だけ，本装置の時刻を進めます。 一度に 125 ミリ秒以上の時刻調整が発生したため，上位 NTP サーバとの同期をリセットします。 NTP 動作モード専用です。 x.xxx：提示秒数 [対応] なし。			
5	E3	NTP	01a00301	**step backward x.xxx seconds.**
	提示秒数だけ，本装置の時刻を戻します。 一度に 125 ミリ秒以上の時刻調整が発生したため，上位 NTP サーバとの同期をリセットします。 NTP 動作モード専用です。 x.xxx：提示秒数 [対応] なし。			
6	E3	NTP	01a00302	**step to yyyy-mm-dd hh:mm:ss UTC.**
	提示時刻を本装置に設定します。 一度に 125 ミリ秒以上の時刻調整が発生したため，上位 NTP サーバとの同期をリセットします。 NTP 動作モード専用です。 yyyy-mm-dd hh:m:ss：提示時刻　西暦 - 月 - 日 時：分：秒 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>NTP</td><td>01a72201</td><td>NTPC:Fixation time was not notified!</td></tr>
<tr><td colspan="4">コマンド実行中に定期更新時間になったため，定期監視通知を中止しました。
SNTP 動作モード専用です。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>NTP</td><td>01a72502</td><td>NTPC:step to yyyy-mm-dd hh:mm:ss UTC.</td></tr>
<tr><td colspan="4">提示時刻を本装置に設定します。
SNTP 動作モード専用です。
yyyy-mm-dd hh:m:ss：提示時刻　西暦 - 月 - 日 時：分：秒
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.5.3 イベント発生部位＝ 802.1X

イベント発生部位 =802.1X の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-32 イベント発生部位 =802.1X の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>802.1X</td><td>00800011</td><td>There is a possibility that 802.1X(port) was not set in some interfaces.</td></tr>
<tr><td colspan="4">いくつかのインタフェースで 802.1X(ポート単位認証) を設定できなかった可能性があります。
[対応]
いったん no コマンドで削除し，再度設定をし直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>802.1X</td><td>00800012</td><td>There is a possibility that 802.1X(port) was not unset in some interfaces.</td></tr>
<tr><td colspan="4">いくつかのインタフェースで 802.1X（ポート単位認証）を解除できなかった可能性があります。
[対応]
コマンドを再設定し，再度 no コマンドで削除してください。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-33　イベント発生部位 =802.1X の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	802.1X	00820001 00820002 00820003 00820004 00820005 00820006 00820007 00820008 00820045	**Could not start L2-authentication function.**
	装置起動時に L2 認証機能を起動することができませんでした。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	E9	802.1X	00820011	**Could not start 802.1X Authenticator function.**
	802.1X 機能を起動することができませんでした。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
3	E9	802.1X	00820021 00820022 00820031 00820032 00820041 00820046 00820047	**Internal error occurred. (code=xx).**
	内部処理エラーが発生しました。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.5.4　イベント発生部位＝ RADIUS

イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-34　イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	RADIUS	01000000	**The authentication dead-interval timer start.**
	プライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000001</td><td>The accounting dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000002</td><td>The authentication dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS 認証要求先がセカンダリ RADIUS サーバからプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000003</td><td>The accounting dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ RADIUS サーバからプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000004</td><td>The MAC authentication dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000005</td><td>The MAC accounting dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000006</td><td>The MAC authentication dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS 認証要求先がセカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000007</td><td>The MAC accounting dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド mac-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ MAC 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ MAC 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000008</td><td>The Web authentication dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>01000009</td><td>The Web accounting dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>0100000a</td><td>The Web authentication dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS 認証要求先がセカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>0100000b</td><td>The Web accounting dead-interval timer stop.</td></tr>
<tr><td colspan="4">下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。
• コンフィグレーションコマンド web-authentication radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。
• RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ Web 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ Web 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E3</td><td>RADIUS</td><td>0100000c</td><td>The 802.1X authentication dead-interval timer start.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
14	E3	RADIUS	0100000d	**The 802.1X accounting dead-interval timer start.**
	プライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバの障害発生などにより，セカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバが RADIUS アカウンティング送信先となったため，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 [対応] なし。			
15	E3	RADIUS	0100000e	**The 802.1X authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS 認証要求先がセカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
16	E3	RADIUS	0100000f	**The 802.1X accounting dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド dot1x radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS アカウンティング送信先がセカンダリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバからプライマリ IEEE802.1X 認証専用 RADIUS サーバに復旧したため。 [対応] なし。			
17	E3	RADIUS	01000010	**The Group[x] authentication dead-interval timer start.**
	RADIUS サーバグループ x でプライマリ RADIUS サーバの障害発生などにより，同じグループ内のセカンダリ RADIUS サーバが RADIUS 認証要求先となったため，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval の設定に従って監視タイマをスタートしました。 x : RADIUS サーバグループ名 [対応] なし。			
18	E3	RADIUS	01000012	**The Group[x] authentication dead-interval timer stop.**
	下記のいずれかの理由により，コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマを停止しました。 • コンフィグレーションコマンド radius-server dead-interval で設定した監視タイマが満了したため。 • RADIUS 認証要求先が RADIUS サーバグループ x のセカンダリ RADIUS サーバから同じグループ内のプライマリ RADIUS サーバに復旧したため。 x : RADIUS サーバグループ名 [対応] なし。			

● E9 情報

表 2-35　イベント発生部位 =RADIUS の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>RADIUS</td><td>01020012</td><td>Could not start RADIUS Client function.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS クライアント機能を起動することができませんでした。
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E9</td><td>RADIUS</td><td>01020013</td><td>RADIUS Queue Overflow.</td></tr>
<tr><td colspan="4">RADIUS クライアントで応答 queue 異常が発生しました。
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.5.5　イベント発生部位＝ CERTIF

イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E9 情報

表 2-36　イベント発生部位 =CERTIF の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>CERTIF</td><td>00f01006</td><td>Could not start MAC Authentication function. (Code=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能を起動できませんでした。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E9</td><td>CERTIF</td><td>00f01011</td><td>Internal error occurred. (Code=xx SubCode=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能で内部エラーが発生しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E9</td><td>CERTIF</td><td>00f01014</td><td>Failed to <xxxx> driver’s filter. (Code=x, ethernet <IF#>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能でドライバフィルタの制御に失敗しました。
<xxxx>：set または unset
x：原因コード（メーカ解析用情報）
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E9</td><td>CERTIF</td><td>00f01021</td><td>Failed to control timer function. (Code=xx SubCode=xx)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC 認証機能でタイマ機能の制御に失敗しました。
xx：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
5	E9	CERTIF	00f02006	**Could not start Web Authentication function. (Code=xx)**
	Web 認証機能を起動できませんでした。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
6	E9	CERTIF	00f02011	**Internal error occurred. (Code=xx SubCode=xx)**
	Web 認証機能で内部エラーが発生しました。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
7	E9	CERTIF	00f02021	**Failed to control timer function. (Code=xx SubCode=xx)**
	Web 認証機能でタイマ機能の制御に失敗しました。 xx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.5.6　イベント発生部位＝ HTTPD

イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-37　イベント発生部位 =HTTPD の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	HTTPD	03200001	**HTTP server initialization failed.**
	HTTP サーバの初期化に失敗しました。 [対応] SSL の証明書および秘密鍵が正しくありません。 正しい SSL の証明書と秘密鍵を入手して，装置に再インストールしてください。			
2	E3	HTTPD	03200003	**Invalid private key or certificate.**
	SSL 鍵，または証明書が不正です。 [対応] SSL の証明書および秘密鍵が正しくありません。 正しい SSL の証明書と秘密鍵を入手して，装置に再インストールしてください。			

2.5.7　イベント発生部位＝ QOS

イベント発生部位 =QOS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-38　イベント発生部位 =QOS の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	QOS	00900000	**Swd Configuration Error. <comment>**
	QoS のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。 <comment>：原因情報（メーカ解析用情報） [対応] 再設定してください。			
2	E3	QOS	00930000	**Unable to use traffic-shape rate feature because value exceeding setting range was specified.**
	設定範囲 (使用可能回線速度) 外の値が指定されたため，ポート帯域制御を使用できません。 [対応] 設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス traffic-shape rate」の rate パラメータの説明を参照してください。			
3	E3	QOS	00930002	**Port half duplex does not support traffic-shape rate feature.**
	半二重回線では，ポート帯域制御を使用できません。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合，全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。			
4	E3	QOS	00930005	**Unable to use WFQ feature because total value of minimum rate exceeding the maximum rate of the port.**
	最低保証帯域 (min-rate) の合計値が回線の最大送出帯域を超えたため，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [対応] 最低保証帯域の合計値が最大送出帯域以内になるようにコンフィグレーションコマンド qos-queue-list で変更してください。			
5	E3	QOS	00930006	**Port half duplex does not support WFQ feature.**
	半二重回線では，WFQ を含むスケジューリングモードは使用できません。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. スケジューリングモードで WFQ を使用する場合，全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list で，WFQ を含まないスケジューリングモードに変更してください。			
6	E3	QOS	00930007	**Relations between traffic-shape rate and scheduling mode are inconsistent.**
	ポート帯域制御とスケジューリングモードの設定が不一致です。 ポート帯域制御を使用する場合，指定可能なスケジューリングモードは PQ です。 [対応] 次のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合，コンフィグレーションコマンドの qos-queue-group および qos-queue-list でスケジューリングモードを PQ にしてください。 2. PQ 以外のスケジューリングモードで使用する場合，コンフィグレーションコマンド no traffic-shape rate でポート帯域制御を削除してください。			

● E9 情報

表 2-39　イベント発生部位 =QOS の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	QOS	00900001	**Software error.**
	ソフトウェアエラー (セマフォ ID の異常) ・ 装置起動時の初期化処理においてセマフォ ID 生成失敗 ・ 装置運用コンフィグレーション生成時のセマフォ ID 取得失敗 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	E9	QOS	00900010 00900011	**Internal error occurred. (code=xxxx,xxxx)**
	QoS のコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。 ・ 00900010 : レガシーシェーピング関連 ・ 00900011 : ポートシェーピング関連 xxxx= エラーコード : メーカ解析用情報 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			

2.5.8　イベント発生部位＝ FIELD

イベント発生部位 =FIELD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-40　イベント発生部位 =FIELD の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	FIELD	00c00000	**Swd Configuration Error. <comment>**
	フィルタのコンフィグレーションをハードウェア制御部に設定できませんでした。 <comment> : 原因情報（メーカ解析用情報） [対応] 再設定してください。			

2.5.9 イベント発生部位＝ ECO

イベント発生部位 =ECO の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-41 イベント発生部位 =ECO の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト 内容
1	E3	ECO	03b00101	**System changes to the schedule power control because it became schedule time.**
	省電力のスケジュール時間になりました。 [対応] なし。			
2	E3	ECO	03b00102	**System changes from the schedule power control because it ended schedule time.**
	省電力のスケジュール時間が終わりました。 [対応] なし。			
3	E3	ECO	03b00200	**This machine is going to sleep ... in a few seconds.**
	数秒後に装置スリープに遷移します。 [対応] なし。			

● E8 情報

表 2-42 イベント発生部位 =ECO の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト 内容
1	E8	ECO	03bfa001	**Detect Uncorrectable Error (MII Interface)**
	装置スリープ状態中に CPU 内蔵 Ethernet インタフェースの MIIM インタフェースでエラーを検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
2	E8	ECO	03bfa002	**Detect Uncorrectable Error (Ethernet Interface)**
	装置スリープ状態中に CPU 内蔵 Ethernet インタフェース内部でエラーを検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
3	E8	ECO	03bfa003	**Detect Uncorrectable Error (cannot turn off the SW LSI)**
	装置スリープ状態へ移行時に Switch Device の電源を OFF にできませんでした。 [対応] 装置を交換してください。			
4	E8	ECO	03bfa004	**Detect Uncorrectable Error (MIIM connectivity)**
	装置スリープ状態へ移行時に Switch Device と PHY 間 (MIIM) の接続を無効にできませんでした。 [対応] 装置を交換してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E8</td><td>ECO</td><td>03bfa005</td><td>Detect Uncorrectable Error (MIIM connectivity)</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置スリープ状態へ移行時に CPU と PHY 間の接続 (MIIM) を有効にできませんでした。
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E8</td><td>ECO</td><td>03bfa006</td><td>Detect Uncorrectable Error (SGMII connectivity)</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置スリープ状態へ移行時に CPU と PHY 間の接続 (SGMII) を有効にできませんでした。
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

2.5.10　イベント発生部位＝ WHITE【OP-WL】

イベント発生部位 =WHITE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-43　イベント発生部位 =WHITE の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>WHITE</td><td>04800001</td><td>Hardware restriction for <vlan> <mac-address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホワイトアドレスリストエントリのハードウェア登録に失敗しました。
<vlan><mac address>：登録に失敗した端末の VLAN と MAC アドレス
[対応]
別の端末を使用してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>WHITE</td><td>04800002</td><td>Resolved hardware restriction for <vlan> <mac-address>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホワイトアドレスリストエントリのハードウェア登録の失敗が解消しました。
<vlan><mac address>：登録に失敗が解消した端末の VLAN と MAC アドレス
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>WHITE</td><td>04800003</td><td>Address list overflow.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホワイトアドレスリストの収容条件を超過しました。
[対応]
運用コマンド show white-list address で，Total entry を見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>WHITE</td><td>04800004</td><td>Packet list overflow.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ホワイトパケットリストの収容条件を超過しました。
[対応]
運用コマンド show white-list packet で，Total entry を見直してください。</td></tr>
</table>

2.6　ポート

2.6.1　イベント発生部位＝ PORT

イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-44　イベント発生部位 =PORT の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	PORT	01e0000b	**Port enabled administratively.**
	ポートが Enable になりました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
2	E3	PORT	01e0000b	**Port disabled administratively.**
	ポートが Disable になりました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
3	E3	PORT	01e00200	**Port activated administratively.**
	ポート Active が指定されました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			
4	E3	PORT	01e00201	**Port inactivated administratively.**
	ポート Inactive が指定されました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

● E4 情報

表 2-45　イベント発生部位 =PORT の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	PORT	01e00001	**Speed setting failed.**
	速度の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
2	E4	PORT	01e00002	**Duplex setting failed.**
	Duplex の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
3	E4	PORT	01e00003	**Flowcontrol setting failed.**
	flowcontrol の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
4	E4	PORT	01e00004	**Failed Interface MTU setting.**
	インタフェースで指定した MTU の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
5	E4	PORT	01e00009	**Failed System MTU setting.**
	system mtu の設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
6	E4	PORT	01e0000C	**Mdix setting failed.**
	MDIX 設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
7	E4	PORT	01e01103	**Auto negotiation failed.**
	オートネゴシエーションが失敗しました。 [対応] • オートネゴシエーションの設定を確認してください。 • 運用コマンド test interfaces を実行し，装置，トランシーバに問題がないことを確認してください。 • 装置およびトランシーバが正常な場合，ケーブルおよび接続先の機器を確認してください。			
8	E4	PORT	01e12100	**PLM : Config setting Error.**
	ポート設定に失敗しました。 [対応] 再設定してください。			
9	E4	PORT	01e3x001	**Port Up.**
	ポートがアップしました。 x : 2(GigabitEthernet) [対応] なし。			
10	E4	PORT	01e3x002	**Error detected on the port.**
	ポートで障害を検出しました。 x : 2(GigabitEthernet) [対応] 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 2. 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 3. 運用コマンド test interfaces を実行し，装置，トランシーバに問題がないことを確認してください。			
11	E4	PORT	01e40001	**Inactivated because of broadcast storm detection.**
	ブロードキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。			
12	E4	PORT	01e40002	**Broadcast storm detected.**
	ブロードキャストストームを検出しました。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
13	E4	PORT	01e40003	**Broadcast storm recovered.**
	ブロードキャストストームが回復しました。 [対応] なし。			
14	E4	PORT	01e40004	**Inactivated because of multicast storm detection.**
	マルチキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。			
15	E4	PORT	01e40005	**Multicast storm detected.**
	マルチキャストストームを検出しました。 [対応] なし。			
16	E4	PORT	01e40006	**Multicast storm recovered.**
	マルチキャストストームが回復しました。 [対応] なし。			
17	E4	PORT	01e40007	**Inactivated because of unicast storm detection.**
	ユニキャストストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復した後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。			
18	E4	PORT	01e40008	**Unicast storm detected.**
	ユニキャストストームを検出しました。 [対応] なし。			
19	E4	PORT	01e40009	**Unicast storm recovered.**
	ユニキャストストームが回復しました。 [対応] なし。			
20	E4	PORT	01e50001	**Inactivated because of uni-directional link detection.**
	片方向リンク障害を検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [対応] • 接続先で IEEE802.3ah/OAM 機能が有効であることを確認してください。 • 運用コマンド test interfaces を実行し，装置，トランシーバに障害がないことを確認してください。 • 装置およびトランシーバが正常な場合，ケーブルおよび接続先の機器を確認してください。 その後，運用コマンド activate でポートを active 状態にしてください。			
21	E4	PORT	01e60001	**Inactivated because of link-relay.**
	リンク状態中継機能により，ポートを閉塞しました。 [対応] リンク状態中継元ポート（source ポート）の回線状態を確認してください。			
22	E4	PORT	01e60002	**Inactivated because of stacking port overload.**
	スタックポートで異常負荷を受信しました。 [対応] 原因を除去した後，activate コマンドを実行してください。			

● R8 情報

表 2-46　イベント発生部位 =PORT の装置関連の R8 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>R8</td><td>PORT</td><td>01ef01xx
01ef02xx</td><td>PORT setting recovered by SFP change.</td></tr>
<tr><td colspan="4">トランシーバ変更によりポート設定障害が回復しました。
xx：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

● E8 情報

表 2-47　イベント発生部位 =PORT の装置関連の E8 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01e20202</td><td>Port stopped because of its hardware failure.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート部分にハードウェア障害が発生したので，ポート部分を停止しました。
[対応]
未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は，装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01e23001</td><td><xxxxxxxx> : Failed SFP Tx Disable.</td></tr>
<tr><td colspan="4">トランシーバ用送信制御に失敗しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01e23002</td><td><xxxxxxxx> : Failed SFP Tx Enable.</td></tr>
<tr><td colspan="4">トランシーバ用送信制御に失敗しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01e31000</td><td>Failed Pause MAC Address setting.</td></tr>
<tr><td colspan="4">Pause 用 MAC アドレス設定に失敗しました。
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01ef01xx</td><td>PORT setting failed by SFP change.[Code=<Code>]</td></tr>
<tr><td colspan="4">トランシーバ変更時，ポートの設定処理に失敗しました。
xx：検出箇所（メーカ解析用情報）
<Code>：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
トランシーバを再度抜き差ししてください。
障害が回復した場合は継続して運用可能です。
失敗の場合は未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は，装置を交換してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E8</td><td>PORT</td><td>01ef02xx</td><td>PORT setting failed by SFP change.[Code=<Code>]</td></tr>
<tr><td colspan="4">トランシーバ変更時，ポートの設定処理に失敗しました。
xx：検出箇所（メーカ解析用情報）
<Code>：原因コード（メーカ解析用情報）
[対応]
回線テストコマンドを再度行ってください。
障害が回復した場合は継続して運用可能です。
失敗の場合は未使用のポートを使用してください。障害となったポートを再度使用する場合は，装置を交換してください。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-48　イベント発生部位 =PORT の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>PORT</td><td>01e30200</td><td><xxxxxxxx> Failed Register a handler.
<xxxxxxxx> Failed Register a handler (Linkdeb).</td></tr>
<tr><td colspan="4">通知関数登録に失敗しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E9</td><td>PORT</td><td>01ex5000</td><td><xxxxxxxx> WDT Time Out.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート制御でウォッチドッグタイムアウトが発生しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
x："1"-PLM, "2"-MTCM, "3"-LCM/LINKDeb
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E9</td><td>PORT</td><td>01ex5001</td><td><xxxxxxxx> WDT Time Out.</td></tr>
<tr><td colspan="4">ポート制御でウォッチドッグタイムアウトが発生しました。
<xxxxxxxx>：検出箇所（メーカ解析用情報）
x：ACT
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
</table>

2.6.2　イベント発生部位＝ SFP

イベント発生部位 =SFP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E4 情報

表 2-49　イベント発生部位 =SFP の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	SFP	024000x0	**Transceiver connected.**
	トランシーバの挿入を検出しました。 x : "0"-SFP [対応] なし。			
2	E4	SFP	02400001	**Transceiver not connected.**
	ポートからトランシーバが外されました。 [対応] なし。			
3	E4	SFP	024000x2	**Transceiver not supported.**
	ポートにトランシーバ［種別不明］が挿入されています。 x : "0"-SFP [対応] 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。			

● R8 情報

表 2-50　イベント発生部位 =SFP の装置関連の R8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	R8	SFP	02400201	**Port recovered from hardware failure.**
	トランシーバの障害が回復しました。 [対応] なし。			
2	R8	SFP	02400401	**System recovered from port failure.**
	トランシーバの障害がすべて回復しました。 [対応] なし。			
3	R8	SFP	024006xx	**SFP-T access recovered.**
	ポートに挿入した SFP-T トランシーバのエラーが回復しました。 xx : 検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] なし。			

● E8 情報

表 2-51 イベント発生部位 =SFP の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト / 内容
1	E8	SFP	02400201	**Port restarted because of its hardware failure.**
				トランシーバに障害が発生したので，回復処理を行いました。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合はメッセージ識別子 02400401 の対応に従ってください。
2	E8	SFP	02400401	**Port restarted, but not recovered from hardware failure.**
				トランシーバ障害の回復処理を行いましたが，回復しませんでした。 [対応] 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。 接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。 回復しない場合はトランシーバを交換してください。
3	E8	SFP	024006xx	**SFP-T access error.**
				ポートに挿入した SFP-T トランシーバでエラーが発生しました。 xx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。 接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。 回復しない場合はトランシーバを交換してください。

2.6.3 イベント発生部位＝ FABRIC

イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-52 イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト / 内容
1	E3	FABRIC	01d00007	**Corrected memory soft errors.(<code>) (Switch <switch no.>)**
				メモリのソフトエラーから回復しました。ソフトエラーによって一部のフレームが廃棄された可能性があります。 <code>：エラー情報（メーカ解析用情報） <switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示） 本ログはコンフィグレーションコマンド system memory-soft-error 設定時に出力します。 [対応] なし。 なお，これは Switch processor 内メモリのデータビットが宇宙線等によって不意に変えられるソフトエラーが一時的に発生したことを示すもので，ハードウェア障害ではありません。

● E4 情報

表 2-53　イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の E4 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E4</td><td>FABRIC</td><td>01d100xx</td><td>Switch Device driver detected a fault.[<code>] (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバで障害を検出したため，復旧処理を行いました。
xx：検出箇所（メーカ解析用情報）
<code>：エラー情報（メーカ解析用情報）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
障害を継続的に検出する場合，以下を確認してください。
・ 運用コマンド test interfaces を実行し，装置，トランシーバに障害がないことを確認してください。
・ 装置およびトランシーバが正常な場合，ケーブルおよび接続先の機器を確認してください。</td></tr>
</table>

● E8 情報

表 2-54　イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の E8 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E8</td><td>FABRIC</td><td>01d00000</td><td>Switch Device Configuration Unmatch(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">認識したデバイス数と装置タイプ定義が一致していません。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E8</td><td>FABRIC</td><td>01df0000</td><td>Switch Device Driver Startup Sequence Failure.(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバの起動処理に失敗しました。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
運用コマンド reload で装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E8</td><td>FABRIC</td><td>01d90000</td><td>Failed to set STG <STG#> (rv=xx)(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">ハードウェアへの設定に失敗しました。
<STG#>：メーカ解析用情報
xx：メーカ解析用情報
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
運用コマンド reload，または本装置の電源 OFF/ON により，装置を再起動してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E8</td><td>FABRIC</td><td>01dxxxxx</td><td>b-driver: xxxx(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバでエラーを検出しました。
xxxx：エラー情報（メーカ解析用情報）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

● E9 情報

表 2-55　イベント発生部位 =FABRIC の装置関連の E9 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d00000</td><td>Switch Device Configuration Unmatch(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">認識したデバイス数と装置タイプ定義が一致していません。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d00001</td><td>Switch Device Driver Error (returned by BCMX attach x:…) (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバのアタッチ処理でエラーが発生したため API 制御ができません。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d00002</td><td>Switch Device Driver Startup Sequence Failure(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバの起動に失敗しました。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d00003</td><td>Switch Device Driver Startup Sequence Time-Out(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">デバイスドライバの起動処理でタイムアウトが発生しました。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。（自動的に装置が再起動されます。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d00006</td><td>b-driver: Switch Device driver failed in memory restoration.(<type>)<code> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。
<type><code>：エラー情報（メーカ解析用情報）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
本ログを繰り返し検出する場合はハードウェア故障です。装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01dxxxxx</td><td>b-driver: xxxx(Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。
xxxx：エラー情報（メーカ解析用情報）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
本ログを繰り返し検出する場合はハードウェア故障です。装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E9</td><td>FABRIC</td><td>01d20000</td><td>Hardware restarted because of its failure.(<code>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。
<code>：エラー情報（メーカ解析用情報）
[対応]
本ログを繰り返し検出する場合はハードウェア故障です。装置を交換してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
8	E9	FABRIC	01d20001	**System restarted because of its failure.(<code>) (Switch <switch no.>)**
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 <code>：エラー情報（メーカ解析用情報） <switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示） [対応] 本ログを繰り返し検出する場合はハードウェア故障です。装置を交換してください。			

2.6.4　イベント発生部位＝ ULR

イベント発生部位 =ULR の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E4 情報

表 2-56　イベント発生部位 =ULR の装置関連の E4 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E4	ULR	03800000	**Change to secondary Port <IF#> from primary Port <IF#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。			
2	E4	ULR	03800001	**Change to primary Port <IF#> from secondary Port <IF#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。			
3	E4	ULR	03800002	**Change to secondary Port <IF#> from primary ChGr <Channel group#>.**
	プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] プライマリポートの障害を確認してください。			
4	E4	ULR	03800003	**Change to primary Port <IF#> from secondary ChGr <Channel group#>.**
	セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。 <IF#>：インタフェースポート番号 <Channel group#>：チャネルグループ番号 [対応] セカンダリポートの障害を確認してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800004</td><td>Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary Port <IF#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
プライマリポートの障害を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800005</td><td>Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary Port <IF#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
セカンダリポートの障害を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800006</td><td>Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary ChGr <Channel group#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">プライマリポートにリンク障害が発生したため，セカンダリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
プライマリポートの障害を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800007</td><td>Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary ChGr <Channel group#>.</td></tr>
<tr><td colspan="4">セカンダリポートにリンク障害が発生したため，プライマリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
セカンダリポートの障害を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800008</td><td>Change to secondary Port <IF#> from primary Port <IF#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">10</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800009</td><td>Change to primary Port <IF#> from secondary Port <IF#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000a</td><td>Change to secondary Port <IF#> from primary ChGr <Channel group#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">12</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000b</td><td>Change to primary Port <IF#> from secondary ChGr <Channel group#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。
<IF#>：インタフェースポート番号
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">13</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000c</td><td>Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary Port <IF#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">14</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000d</td><td>Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary Port <IF#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000e</td><td>Change to secondary ChGr <Channel group#> from primary ChGr <Channel group#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でプライマリポートからセカンダリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">16</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>0380000f</td><td>Change to primary ChGr <Channel group#> from secondary ChGr <Channel group#> forced.</td></tr>
<tr><td colspan="4">手動でセカンダリポートからプライマリポートに切り替えました。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">17</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800010</td><td>Mac-address-table update frame cannot be sent on the Port <IF#> because capacity was exceeded.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC アドレス送信件数（1024）を超えたため，MAC アドレスアップデートフレームを送信できません。
<IF#>：インタフェースポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">18</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03800011</td><td>Mac-address-table update frame cannot be sent on the ChGr <Channel group#> because capacity was exceeded.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MAC アドレス送信件数（1024）を超えたため，MAC アドレスアップデートフレームを送信できません。
<Channel group#>：チャネルグループ番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">19</td><td>E4</td><td>ULR</td><td>03840000</td><td>Cleared MAC Address Table entry.</td></tr>
<tr><td colspan="4">フラッシュ制御フレームを受信したため，MAC アドレステーブルをクリアしました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

2.7　装置

2.7.1　イベント発生部位＝ ROM

イベント発生部位 =ROM の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-57　イベント発生部位 =ROM の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	ROM	02900000	**FROM write timeout Addr=xxxxxxxx, getData=xx**
	フラッシュメモリ書き込みでエラーが発生しました。 Addr=xxxxxxxx,getData=xx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] コマンドを再実行してください。			
2	E3	ROM	02900000	**FROM erase timeout Addr=xxxxxxxx**
	フラッシュメモリ消去でエラーが発生しました。 Addr=xxxxxxxx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] コマンドを再実行してください。			
3	E3	ROM	02900001	**flash format complete.**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が正常終了しました。 （運用コマンド format flash 実行時，正常終了しても本情報は採取されます。） [対応] なし。			
4	E3	ROM	02900002	**flash format error. detail=xxxx**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が失敗しました。 detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			
5	E3	ROM	02900003	**flash format task not ended. detail=xxxx**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化が終了できませんでした。 detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			
6	E3	ROM	02900004	**flash format system error(1). detail=xxxx**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化でシステムエラーが発生しました。 detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） [対応] 運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
7	E3	ROM	02900005	**flash format system error(2). detail=xxxx**
	フラッシュメモリのファイルシステムの初期化でシステムエラーが発生しました。 detail=xxxx：原因コード（メーカ解析用情報） ［対応］ 運用コマンド format flash を再実行してみてください。それでも採取される場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			
8	E3	ROM	02900013	**file system error.**
	フラッシュメモリのコンフィグレーション格納エリアが使用できない状態になっています。 ［対応］ 運用コマンド format flash を実行してみてください。それでもエラーになる場合は，フラッシュメモリが故障している可能性があります。			
9	E3	ROM	02900064	**FROM write fail [cnt=xxxxxxxx,size=xxxxxxxx,err=xxxxxxxx]**
	運用コマンド ppupdate または restore 実行時，フラッシュメモリへの書き込みに失敗しました。 cnt=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） size=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） err=xxxxxxxx：原因コード（メーカ解析用情報） ［対応］ 運用コマンド ppupdate（restore を実行していた場合は，restore）を再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			

● E8 情報

表 2-58　イベント発生部位 =ROM の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E8	ROM	02901001	**Flash memory failure detected at <function name> <target address>. (Switch <switch no.>)**
	フラッシュメモリが故障しました。 <function name> <target address>：エラー情報（メーカ解析用情報） <switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示） ［対応］ 装置を交換してください。			

● E9 情報

表 2-59　イベント発生部位 =ROM の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	ROM	02900007	**flash write error. addr=xxxxxxxxxx size=xxxx**
	フラッシュメモリ書き込みでエラーが発生しました。 addr=xxxxxxx size=xxxx：検出箇所（メーカ解析用情報） ［対応］ そのとき実行していたコマンドを再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
2	E9	ROM	02900008	**flash erase error. addr=xxxxxxxxxx size=xxxx**
	フラッシュメモリ消去でエラーが発生しました。 addr=xxxxxxx size=xxxx：検出箇所（メーカ解析用情報） [対応] そのとき実行していたコマンドを再実行してみてください。それでもエラーになる場合は，装置を交換してください。			

2.7.2 イベント発生部位＝ RTC

イベント発生部位 =RTC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-60 イベント発生部位 =RTC の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	RTC	0220012d	**Battery EMPTY**
	RTC のバッテリーが 0V から起動しました。（装置の電源 OFF 後 10 日以上経過してから起動した場合） [対応] 時刻を設定しなおしてください。			

● E9 情報

表 2-61 イベント発生部位 =RTC の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	RTC	022000c9	**Initialize Failure**
	RTC の初期化処理に失敗しました。 [対応] なし。（自動的に装置が再起動されます。）			
2	E9	RTC	0220012e	**Retry failure**
	RTC へのアクセスに失敗しました。 [対応] なし。			

2.7.3 イベント発生部位＝ THERMO

イベント発生部位 =THERMO の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-62 イベント発生部位 =THERMO の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	THERMO	02300302	**Accumulation operation time was initialized**
	累積稼動時間のデータが壊れていたため，累積稼動時間を 0 に初期化しました。 [対応] なし。			
2	E3	THERMO	02300304	**Data of accumulation operation time fail**
	累積稼動時間のデータが壊れています。 [対応] なし。			
3	E3	THERMO	02300501	**The temperature of hardware reached the warning level (<temperature threshold> degree).**
	ハードウェアの温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level にて設定した温度を上回りました。 <temperature threshold>：コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level にて設定した温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。			
4	E3	THERMO	02300502	**The temperature of hardware came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level にて設定した温度から 3 度下回りました。 [対応] なし。			
5	E3	THERMO	02300503	**The temperature logging can't be written.**
	温度ロギング情報の書き込みに失敗しました。 [対応] なし。			
6	E3	THERMO	02300504	**The average temperature of hardware reached the warning level. (<temperature> degree/<temperature threshold> degree <days> day(s))**
	ハードウェアの平均温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level average にて設定した温度を上回りました。 <temperature>：装置の平均温度（摂氏） <temperature threshold>：コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level average にて設定した温度（摂氏） <days>：平均温度算出期間 [対応] 装置の平均温度が指定した平均温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。			

● R7 情報

表 2-63　イベント発生部位 =THERMO の装置関連の R7 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
				内容
1	R7	THERMO	02300601	**An environmental level became normal**
	温度（外気温）が閾値を超えた状態から，正常温度に戻りました。 [対応] なし。			

● E7 情報

表 2-64　イベント発生部位 =THERMO の装置関連の E7 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
				内容
1	E7	THERMO	02300301	**Temperature exceeds the threshold**
	温度（外気温）が閾値を超えました。 [対応] 装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。			
2	E7	THERMO	02300303	**Temperature sensor re-try failure**
	温度センサのリトライに失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	E7	THERMO	02300305	**Set Configuration Failure**
	装置起動時，温度センサレジスタへの Config 設定時のベリファイ処理に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

● E9 情報

表 2-65　イベント発生部位 =THERMO の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
				内容
1	E9	THERMO	02300310	**Hardware is becoming high temperature which give damage to this system.**
	ハードウェアの温度は，装置の運用に致命的な障害を与える温度値に達しました。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば装置を交換してください。			

2.7.4　イベント発生部位＝ SDCARD

イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-66　イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の E3 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E3</td><td>SDCARD</td><td>02600191</td><td>Not Support File System</td></tr>
<tr><td colspan="4">FAT12，FAT16 以外のファイルシステムのメディアが挿入されました。
[対応]
FAT12 または FAT16 でフォーマットし直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>E3</td><td>SDCARD</td><td>02610001</td><td>Loading mc-configuration failed; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードで装置起動時に，MC 情報の読み込みに失敗しました。
<reason>：失敗理由
・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・ File read failed.（ファイルの読み込みに失敗しました）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
<reason> により対応してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>E3</td><td>SDCARD</td><td>02610002</td><td>Changes detected on mc-configuration. Restarting.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードで装置起動時に，装置情報が変化したため再起動します。（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>SDCARD</td><td>02610101</td><td>Updating mc-configuration is completed. (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">稼働中のソフトウェアと装置情報の MC への更新が完了しました。
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>SDCARD</td><td>02610102</td><td>Updating mc-configuration failed; <reason> (Switch <switch no.>)</td></tr>
<tr><td colspan="4">稼働中のソフトウェアと装置情報の MC への更新に失敗しました。
<reason>：失敗理由
・ Not enough space on device.（MC または RAMDISK※の空き容量が不足しています）
・ File write failed.（ファイルの書き込みに失敗しました）
・ MC is not inserted.（MC が挿入されていません）
・ Can't access to MC by write protection.（MC はライトプロテクトで保護されているため，書き込みできません）
・ Master switch changed.（マスタ交代が発生中のため，失敗しました）
・ Member switch disconnected.（当該メンバスイッチが切断されたため，失敗しました）
<switch no.>：スイッチ番号（スタック機能有効時だけ表示）
注※　MC 出力時も，RAMDISK を一時保存エリアとして使用しています。
[対応]
・ 失敗理由が「Master switch changed.」の場合
マスタスイッチ決定後，再実行してください。
・ 失敗理由が「Member switch disconnected.」の場合
スタックポートの状態，および切断されたメンバスイッチの状態を確認してから再実行してください。
・ 失敗理由が上記以外の場合
<reason> により対応してください。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
6	E3	SDCARD	上記以外の026xxxxx	**上記以外**
	上記以外は，コマンドレス保守機能で採取されている場合があります。 別冊「IP8800/A260 コマンドレス保守レファレンス」も参照してください。			

● E9 情報

表 2-67　イベント発生部位 =SDCARD の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	SDCARD	026000c9	**Create Device Fail**
	装置起動時の初期化処理で MC アクセスデバイス生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
2	E9	SDCARD	026000ca	**Could Not Create Semaphore**
	装置起動時の初期化処理でセマフォ生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
3	E9	SDCARD	026000cb	**Could Not Create Message Que**
	装置起動時の初期化処理でメッセージキューの生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			
4	E9	SDCARD	026000cc	**Could not Create Task**
	装置起動時の初期化処理でタスク生成に失敗しました。 [対応] 運用コマンド reload で装置を再起動してください。			

2.7.5　イベント発生部位＝ FAN

イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-68　イベント発生部位 =FAN の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	FAN	02b00000	**FAN started by the system FAN control.**
	温度監視によりファンが動作しました。 [対応] なし。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
2	E3	FAN	02b00001	**FAN stopped by the system FAN control.**
	温度監視によりファンが停止しました。 [対応] なし。			

● R8 情報

表 2-69　イベント発生部位 =FAN の装置関連の R8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	R8	FAN	02b4000n	**FAN is normal.(n)**
	ファンの起動（障害回復）を検出しました。 n：ファン番号 [対応] なし。			

● E8 情報

表 2-70　イベント発生部位 =FAN の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E8	FAN	02b4000n	**FAN stopped.(n)**
	ファンの異常（障害）を検出しました。 n：ファン番号 [対応] 装置を交換してください。			

2.7.6　イベント発生部位＝ LED

イベント発生部位 =LED の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-71　イベント発生部位 =LED の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	LED	02500000	**Changed LED brightness : xxxx**
	LED 動作を変更しました。 xxxx：LED 動作の設定（normal，economy，off） [対応] なし。			

2.7.7　イベント発生部位＝ SVP

イベント発生部位 =SVP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-72　イベント発生部位 =SVP の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	SVP	03900000	**SVP started.**
	SVP の起動を確認しました。 [対応] なし。			
2	E3	SVP	03900001	**SVP controller download succeeded.**
	SVP コントローラの更新が終了しました。 [対応] なし。			

● E8 情報

表 2-73　イベント発生部位 =SVP の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E8	SVP	03939000	**SVP controller Version write error !!**
	SVP コントローラのバージョン書き込みに失敗しました。 [対応] 装置を交換してください。			
2	E8	SVP	03939001	**SVP controller download(SPI Tx) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
3	E8	SVP	03939002	**SVP controller download(SPI Write) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
4	E8	SVP	03939003	**SVP controller download(Health Check) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			
5	E8	SVP	03939004	**SVP controller download(Unknown) error !!**
	SVP の異常を検出しました。 [対応] 装置を交換してください。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E8</td><td>SVP</td><td>039390fn</td><td>SVP controller download(Fuse Write) error !!</td></tr>
<tr><td colspan="4">SVP の異常を検出しました。
識別コード n は書き込み失敗部位 (bit Map)
n:1 ～ 7
b1:ExFuse
b2:FuseHigh
b3:FuseLow
b4:Reserved
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td>E8</td><td>SVP</td><td>03939101</td><td>Error of SVP is detected.</td></tr>
<tr><td colspan="4">SVP の異常を検出しました。
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

2.7.8　イベント発生部位＝ PWRSUP

イベント発生部位 =PWRSUP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E8 情報

表 2-74　イベント発生部位 =PWRSUP の装置関連の E8 情報

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>E8</td><td>PWRSUP</td><td>03c3920F</td><td>Error of the power supply was detected.</td></tr>
<tr><td colspan="4">電源の異常を検出しました。
[対応]
装置を交換してください。</td></tr>
</table>

2.7.9 イベント発生部位＝ PCI

イベント発生部位 =PCI の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E8 情報

表 2-75 イベント発生部位 =PCI の装置関連の E8 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E8	PCI	01c00001 01c10001 01c20001 01c30001	**Detect uncorrectable (NF) error(regInfo=xx).**
	PCI バスエラーを検出しました。(PCI バス障害) xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

● E9 情報

表 2-76 イベント発生部位 =PCI の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	PCI	01c00002 01c10002 01c20002 01c30002	**Detect uncorrectable error(regInfo=xx).**
	致命的な PCI バスエラーを検出しました。(PCI バス障害) コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

2.7.10 イベント発生部位＝ RAM

イベント発生部位 =RAM の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E9 情報

表 2-77 イベント発生部位 =RAM の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	RAM	02a00000	**Detect multiple memory error(attr:xx,addr=xx,synd=xx).**
	マルチプル・メモリ・エラー（ECC エラー）を検出しました。 コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
				内容
2	E9	RAM	02a00001	**Detect multiple bit error(attr:xx,addr=xx,synd=xx).**
	マルチプル・ビット・エラー (ECC2bit エラー）を検出しました。 コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			
3	E9	RAM	02a00003	**Detect memory-select error(attr:xx,addr=xx,synd=xx).**
	メモリ・セレクト・エラーを検出しました。 コンフィグレーションコマンド no system recovery を設定していない場合，装置が再起動されます。 xx：検出箇所（メーカ解析情報） [対応] 装置を交換してください。			

2.7.11　イベント発生部位＝ FPGA【08TF】

イベント発生部位 =FPGA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-78　イベント発生部位 =FPGA の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
				内容
1	E3	FPGA	04900A02 04900A03 04900A04	**Corrected memory soft errors.**
	メモリのソフトエラーから回復しました。ソフトエラーによって一部のフレームが廃棄された可能性があります。 本ログはコンフィグレーションコマンド system memory-soft-error 設定時に出力します。 [対応] なし。 なお，これは FPGA 内メモリのデータビットが宇宙線等によって不意に変えられるソフトエラーが一時的に発生したことを示すもので，ハードウェア障害ではありません。			

● E9 情報

表 2-79 イベント発生部位 =FPGA の装置関連の E9 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E9	FPGA	04900001 04900002 04900101 04900201 04900301 04900401 04900501 04900601 04900701 04900801 04900901 04900A01 04900B01 04900C01 04900C02	**System restarted because of its failure(xxxxx).**
	FPGA で障害を検出したので，再起動を行いました。 xxxxx：詳細情報（メーカ解析情報） [対応] 本ログを繰り返し検出する場合はハードウェア故障です。装置を交換してください。			

2.7.12 イベント発生部位＝ EQUIPMENT

イベント発生部位 =EQUIPMENT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

● E3 情報

表 2-80 イベント発生部位 =EUIPMENT の装置関連の E3 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	E3	EQUIPMENT	04c10000	**Zero-touch-provisioning started.**
	ゼロタッチプロビジョニング動作モードでの装置起動を開始しました。 [対応] なし。			
2	E3	EQUIPMENT	04c10001	**Changes detected on zero-touch-provisioning. Restarting.**
	ゼロタッチプロビジョニング動作モード処理により再起動します。 [対応] なし。			
3	E3	EQUIPMENT	04c10002	**System started with zero-touch-provisioning.**
	ゼロタッチプロビジョニング動作モードで起動しました。 [対応] なし。			

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="4">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>E3</td><td>EQUIPMENT</td><td>04c10003</td><td>System started without zero-touch-provisioning; <reason></td></tr>
<tr><td colspan="4">通常モードで起動しました。
<reason>：通常起動理由
• No configuration.（ゼロタッチプロビジョニングが無効です。）
• Link down.（ゼロタッチプロビジョニングインタフェースがリンクダウン状態です。）
• No IP address.（IP アドレスを取得できませんでした。）
• File get failed.（ファイルの取得に失敗しました。）
• File read failed.（ファイルの読み込みに失敗しました。）
• File write failed.（ファイルの書き込みに失敗しました。）
[対応]
• 失敗理由が「Link down.」の場合
ゼロタッチプロビジョニングインタフェースを見直してください。
• 失敗理由が「File get failed.」または「No IP address.」の場合
サーバの設定を見直してください。
• 失敗理由が「File read failed.」または「File write failed.」の場合
一括情報ファイルを見直してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td>E3</td><td>EQUIPMENT</td><td>04c10004</td><td>System zero-touch-provisioning is disabled, because the mc-configuration has been enabled.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードを有効に変更したため，排他機能のゼロタッチプロビジョンを無効にしました。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td>E3</td><td>EQUIPMENT</td><td>04c10005</td><td>System zero-touch-provisioning is enabled, because the mc-configuration has been disabled.</td></tr>
<tr><td colspan="4">MC 運用モードを無効に変更したため，排他機能のゼロタッチプロビジョンを有効にしました。
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

索引

数字

C

D

E

F

G

H

I

K

L

N

P

Q

R

S

T

U

V

W

い